



**株式会社 UACJ**

ESG 説明会（前半）

2023 年 12 月 7 日

## イベント概要

---

[企業名]	株式会社 UACJ
[企業 ID]	5741
[イベント言語]	JPN
[イベント種類]	アナリスト説明会
[イベント名]	ESG 説明会（前半）
[決算期]	
[日程]	2023 年 12 月 7 日
[ページ数]	54
[時間]	10:00 – 11:01 (合計：61 分、登壇：61 分)
[開催場所]	インターネット配信
[会場面積]	
[出席人数]	102
[登壇者]	5 名 代表取締役 社長執行役員 石原 美幸（以下、石原） 取締役 常務執行役員 サステナビリティ推進本部長 板事業本部副本部長（製造部門） 田中 信二（以下、田中）

---

### サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com



専務執行役員 ビジネスサポート本部長 山口 明則（以下、山口）

専務執行役員 マーケティング・技術本部長

平野 清一（以下、平野）

財務本部 IR 部長

上田 薫（以下、上田）

---

## サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com



## 登壇

---

**上田**：本日はお忙しい中、株式会社 UACJ、ESG 説明会にご参加いただき誠にありがとうございます。本日、司会を務めます、財務本部 IR 部長の上田薫でございます。どうぞよろしく願いいたします。

それでは、本日のプログラムを始めさせていただきます。はじめに、代表取締役社長執行役員の石原より、開催にあたってのご挨拶と、UACJ グループが目指す軽やかな世界についてご説明させていただきます。

**石原**：おはようございます。社長の石原でございます。昨年に引き続きまして、この ESG 説明会を開催することができました。ご参加賜り、誠にありがとうございます。

本日は、「“軽やかな世界”の実現に向けてアルミニウムができること」というテーマで、皆様に当社の ESG について、特に環境と人の側面から具体的な考え方、取り組みについて各担当役員からお話を申し上げたいと思います。

はじめは、当社からプレゼンテーションさせていただいて、プレゼンテーション終了後、休憩を挟んで、ご質問を頂戴したいと思います。

---

### サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com





**UACJ**  
Aluminum lightens the world  
アルミでかなえる、軽やかな世界

## UACJグループが目指す軽やかな世界

代表取締役 社長執行役員  
石原 美幸

2023年12月7日  
株式会社UACJ

© UACJ Corporation. All rights reserved.



はじめに、私から UACJ グループが目指す軽やかな世界についてご説明申し上げたいと思います。

### サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com



## UACJグループのサステナビリティの進化

統合10年を迎え、「100年後の軽やかな社会」の実現に向けた取り組みを加速



2014～2017年度

### ガバナンスを中心とした 機構強化

- 2014 外国人執行役員を登用
- 2015 女性の社外取締役を選任
- 2016 取締役会の実効性評価開始
- 2017 指名・報酬諮問委員会を設置  
働き方改革に着手

2018～2020年度

### 経営の中核として サステナビリティ活動を推進

- 2018 環境負荷データの集計範囲を海外に拡大  
企業経営経験者を社外取締役に選任
- 2019 取締役・執行役員の人数を大幅削減  
技能伝承の仕組みをグループへ展開  
構造改革スタート
- 2020 理念対話会開始  
コーポレートスローガン、  
ブランドステートメントを公表  
ASI加盟  
サクセッション・プランの本格運用開始  
役員報酬体系にTSRを導入

2021～2023年度

### サステナビリティ活動の 高度化

- 2021 サステナビリティ基本方針を策定  
マテリアリティを策定し、推進スタート  
国連グローバル・コンパクトに加盟  
ASI認証を取得(福井/UATHラヨン製造所)  
気候変動対策推進委員会を発足  
TCFDに賛同、シナリオ分析結果を公表  
役員報酬体系にSDGs評価、RSUを導入
- 2022 カーボンニュートラルへの挑戦を宣言  
CDP「気候変動」「水セキュリティ」でB評価を獲得  
人材戦略プロジェクトを開始  
構造改革完遂
- 2023 サステナビリティ推進本部を設置  
UACJ基金(仮称)を設立  
マルチステークホルダー方針を策定

© UACJ Corporation. All rights reserved.

1

このページは、UACJグループのサステナビリティの進化についてです。UACJグループは、2023年10月をもって、統合から10年を迎えることができました。ひとえに、ご支援を賜りました皆様方のおかげと感謝申し上げます。

10年を振り返りますと、さまざまなことがございました。サステナビリティへの取り組みは、確実に進化してきた事項の一つです。ガバナンスを中心とした機構の強化を皮切りに、サステナビリティ活動を推進、高度化してまいりました。これから先の10年、そして100年後も見据え、軽やかな社会の実現に向けて積極的な活動を展開してまいります。

## サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com



## UACJグループ 理念体系(フィロソフィー)

### UACJグループ理念



### 行動指針「UACJウェイ」



© UACJ Corporation. All rights reserved.

#### 企業理念(パーパス)

素材の力を引き出す技術で、持続可能で豊かな社会の実現に貢献する。

#### 目指す姿(ビジョン)

アルミニウムを究めて環境負荷を減らし、軽やかな世界へ。

#### 価値観(バリュー)

##### 行動指針「UACJウェイ」

##### 相互の理解と尊重

- 地域社会との交流を大切に、貢献する。
- 人の多様性を認め、価値観を尊重する。
- オープンなコミュニケーションを実践し、チームと個人の成長を大切にする。
- 「イキイキとした職場づくり」を推進する。

##### 誠実さと未来志向

- 5ゲン主義に基づき行動する。
- 現実に真摯に向き合い、物事の本質を捉えた「誠実なモノづくり」を通じて、ステークホルダー目線の期待に応える。
- 「未来志向」で時代を先取りし、地球環境を守る活動に積極的に取り組む。

##### 好奇心と挑戦心

- 環境の変化に対して常に「好奇心」と「挑戦心」を持ち、社会が必要とする製品とサービスを提供する。
- 社会の将来に向けたオープンイノベーションに対して、創造力を持って取り組む。

2

UACJ グループの理念体系、フィロソフィーをあらためてお示ししております。この10年間で最も大きな変化点の一つは、2020年2月に公表したUACJグループの理念の再定義でした。

UACJは誰のために、何のために事業を行うのか、社会における存在意義(パーパス)を問い直したもので、毎度皆様にお示ししております。

「素材の力を引き出す技術で、持続可能で豊かな社会の実現に貢献する。」という企業理念は、銅あるいはアルミニウムという金属素材が持つ機能や特性を生かす技術力、すなわち<sup>ワザ</sup>と<sup>スベ</sup>を競争力の源泉とし、持続可能かつ文化的で豊かな社会を感じる社会を実現していこうという決意を表したものとなっております。

さまざまなバックグラウンドを持つ社員がこのUACJグループに集まり、そして掲げた理念に向かうための行動指針を羅針盤「UACJウェイ」としてまとめました。

構造改革を機に発足した、社長直属の組織である新しい風土をつくる部を推進役として、構造改革の期間を終えた今でも、私あるいは役員が中心となって社員と対話会を実施して、この浸透活動を行っております。

UACJグループが掲げる企業理念、どのような価値を社会に提供し続けるかを一人ひとりが考えて、実践し続けられており、よい方向に向かっていると実感しております。

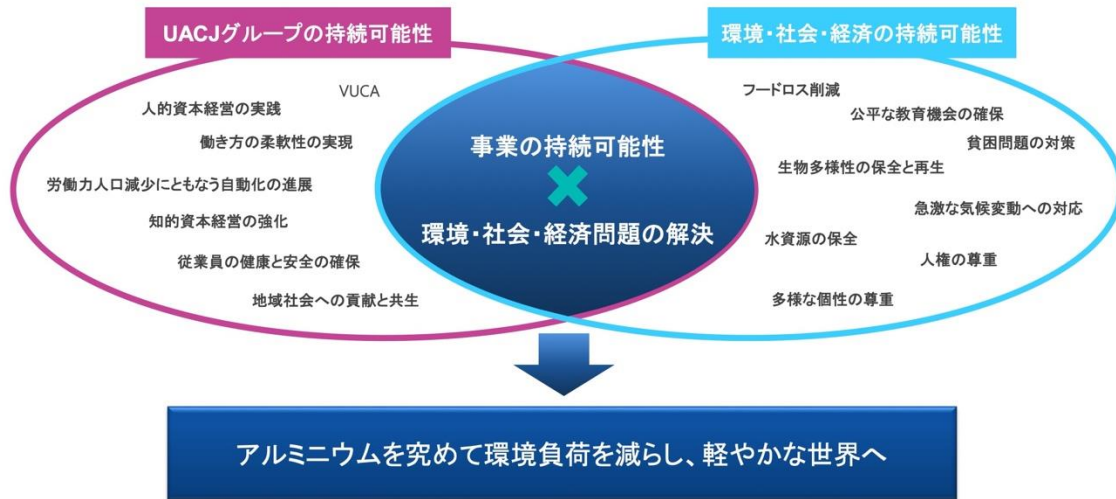
## サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com



## UACJグループにとってのサステナビリティ

アルミニウムを通じ、「持続可能で豊かな社会の実現」に貢献することを目指す



© UACJ Corporation. All rights reserved.

3

UACJグループにとってのサステナビリティとは「アルミニウムを通じ、持続可能で豊かな社会の実現に貢献すること」は、すなわち、企業理念そのものだと思っています。

持続的な社会へ貢献するために、まず自らが持続的でなければならないということです。

当社が営むアルミニウム事業は、急激な気候変動への対策、あるいは生物多様性の保全と再生、そして資源の有効活用に対して大いに有効なものであると感じております。この事業の持続性と、環境、社会の持続性は連動するものであることを強く認識しております。

「アルミニウムを究めて、環境負荷を減らし、軽やかな世界」を実現することは、すなわち、アルミニウムという素材が環境、社会問題の解決の一助になることをお示しするもので、サステナビリティ活動の強化が企業価値向上に直結することは言うまでもございません。

### サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com



# 100年後の“軽やかな世界“のために



## 受け継いできた情熱と叡智で

創業以来の探求心と、技術と知恵を結集したイノベーションでより便利な社会、持続可能な地球環境を追求します。

## すべてのステークホルダーの 皆さまとともに

事業を通じて向かい合う関係者はもとより、いろいろな形で関わりあう社会を思い、グループ内外の人々と協調・協働して持続可能な世界への貢献を実現します。

## 一人ひとりの多様な個性で

国籍、性別、年齢、障がいの有無などの違いに関わらずさまざまな人材を尊重し、その考えやスキルを活かすことで、既成概念にとらわれない自由な発想で課題解決に取り組みます。

© UACJ Corporation. All rights reserved.

4

当社グループのサステナビリティの基本方針をお示しします。

100年後の軽やかな世界を実現するために今取り組んでいること、将来のために積み重ねていくことは何かを、本日のプレゼンテーションでお示ししたいと思います。

## サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

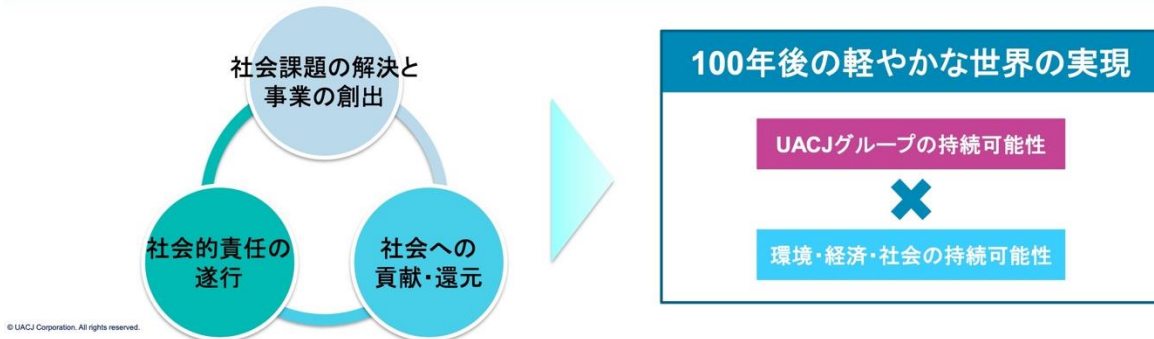


## 100年後の“軽やかな世界“のためのマテリアリティ

### 時代の変化に対応し、持続的な発展をかなえるためにマテリアリティを見直す

#### UACJグループにおけるマテリアリティの定義

- UACJグループは、中長期の時間軸において、ESGの観点から持続可能性に関わる重要課題をマテリアリティと定義する
- マテリアリティでは、下記の要素を重視する
  - ステークホルダーに関連の深い「環境・経済・社会」課題であること
  - UACJグループが持続的に企業価値を向上させるために優先的に取り組むべき「環境・経済・社会」課題であること
  - それらに取り組むことが、UACJグループが提供したい社会的価値・経済的価値の創出となること
- 基本的な活動として根付いた事項は、「基盤=UACJの当たり前」として事業を継続するための土台とする



5

UACJグループでは、マテリアリティを中長期の時間軸で捉え、ESGの観点から、持続可能性にかかわる重要な課題であると定義しております。

マテリアリティでは、環境・経済・社会の課題の中でも、UACJグループのステークホルダーの皆様にとって関連が深いこと、そして企業価値向上につながるべく優先すべき課題であること、そして提供したい価値そのものの創出につながるものであることを重視しております。

マテリアリティとして設定し、取り組みを進めてきた結果、事業活動を営む中で基本的なものとして根づいてきたものはUACJの当たり前として捉え、マテリアリティから事業継続のための土台にすることとしました。

時代の変化を柔軟に捉え、社会的な責任の遂行と社会への還元のため、当社ではマテリアリティの見直しを進めております。

#### サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

## UACJグループが目指す“軽やかな世界”に導く羅針盤



### 100年後の軽やかな世界のために

私たちの毎日の暮らしを支える素材、アルミニウム。自由にカタチを変え、無限の可能性を持つ素材。同じものとして、何度でも生まれ変わることができる。この特徴は、アルミニウムならではの。言わば「サステナブル(持続可能)な素材」です。

そんなアルミニウムの持つ力を、技と術で引き出してきたUACJだからできること。

それは、美しく豊かな地球がずっと続く未来が実現できるよう、これまで受け継いできた叡智と情熱を胸に、地球環境が抱えるさまざまな課題と向き合い、環境に配慮した事業を営んでいくこと。

さらに、誰もが幸せを感じられる健やかで調和のとれた社会が実現するよう、あらゆる人々の多様性を尊重し地域社会との共生・共創を通して、ステークホルダーの皆さまとともに社員一人ひとりが、考え、行動すること。

アルミとあしたへ。未来の子どもたちに、美しい地球を。サステナブルな社会を。それがUACJの考える「軽やかな世界」です。

6

このたび、サステナビリティ活動を推進していく上で、UACJのグループとしてののをまとめました。

環境面においては「美しく豊かな地球がずっと続く未来」、ウェルビーイングの観点からは「誰もが幸せを感じられる、健やかで調和の取れた社会」が、UACJグループの目指すべき方向性であることを、この羅針盤の上と下に方向づけしました。これらはSDGsの目標とも合致しております。

### サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com



## UACJグループが目指す“軽やかな世界”とは

美しく豊かな地球がずっと続く未来



© UACJ Corporation. All rights reserved.

誰もが幸せを感じられる 健やかで調和の取れた社会

あなたをWellに。みんなをWellに。  
**UACJ Well WAVE**



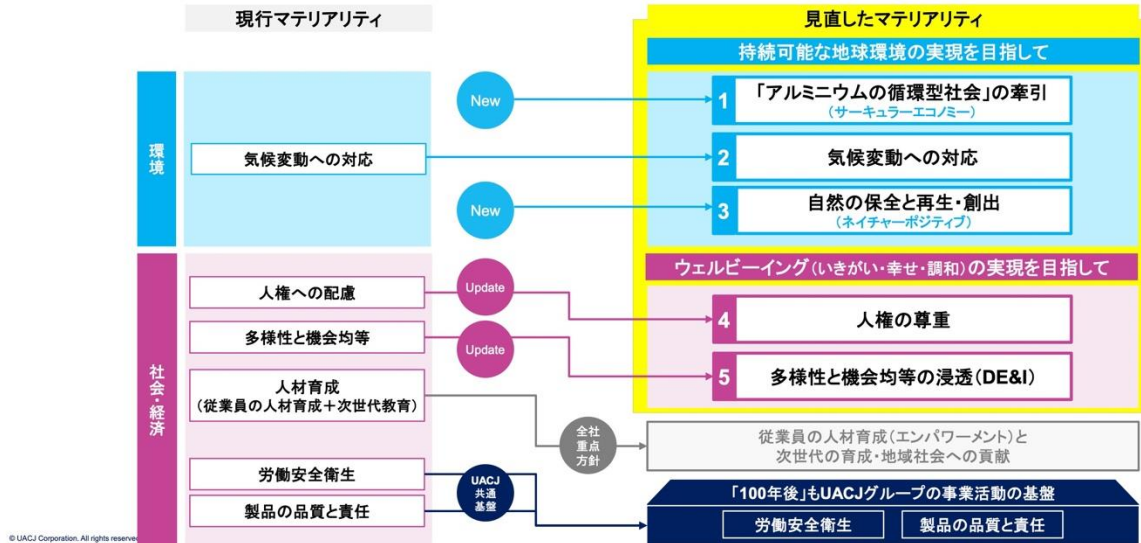
7

環境の観点、ウェルビーイングの観点をお示ししています。目指す方向性等の方策については、この後、各担当の役員から具体的にお話しします。

### サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

マテリアリティを見直し、中長期での企業価値向上を目指す



このマテリアリティが、UACJ VISION 2030 とどう関係があるのかについてお話しします。VISION 2030 で描いたその姿に到達するために、当社では 2021 年 5 月にマテリアリティを公表し、取り組みを進めております。

ここまでもご説明したとおり、時代の動きに柔軟に対応すること、そして外部環境を正確に捉えることが大事だと思い、このたびマテリアリティそのものの見直しに至っております。

環境面においては、持続可能な地球環境の実現を目指して、アルミニウムの循環型社会の牽引と、気候変動への対応、自然の保全と再生・創出を掲げております。

社会、経済面では、ウェルビーイングの実現を目指して、人権の尊重、多様性と機会均等の浸透を掲げております。

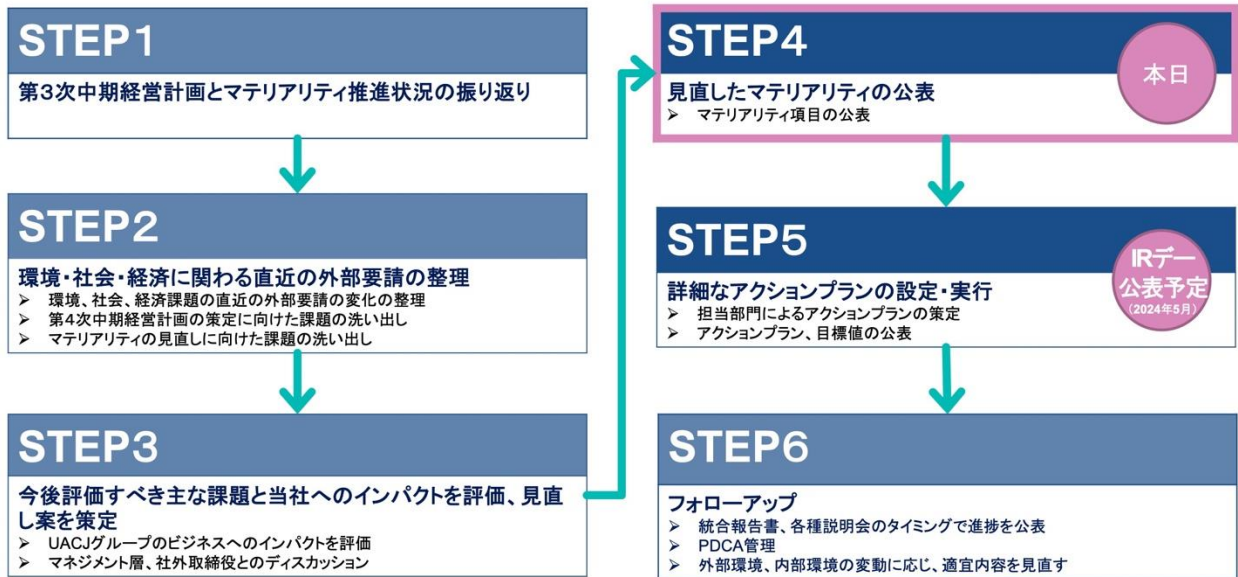
現行のマテリアリティで掲げております人材育成につきましては、人権への配慮を含むととらえていますが、全社重点方針として今後も取り組みます。

また、労働安全衛生、製品の品質と責任については、既に UACJ グループの当たり前のこととして定着しており、100 年後も当社の事業基盤の基礎になるものと確信し、このように判断しました。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375  
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

## マテリアリティの見直しフロー



© UACJ Corporation. All rights reserved.

9

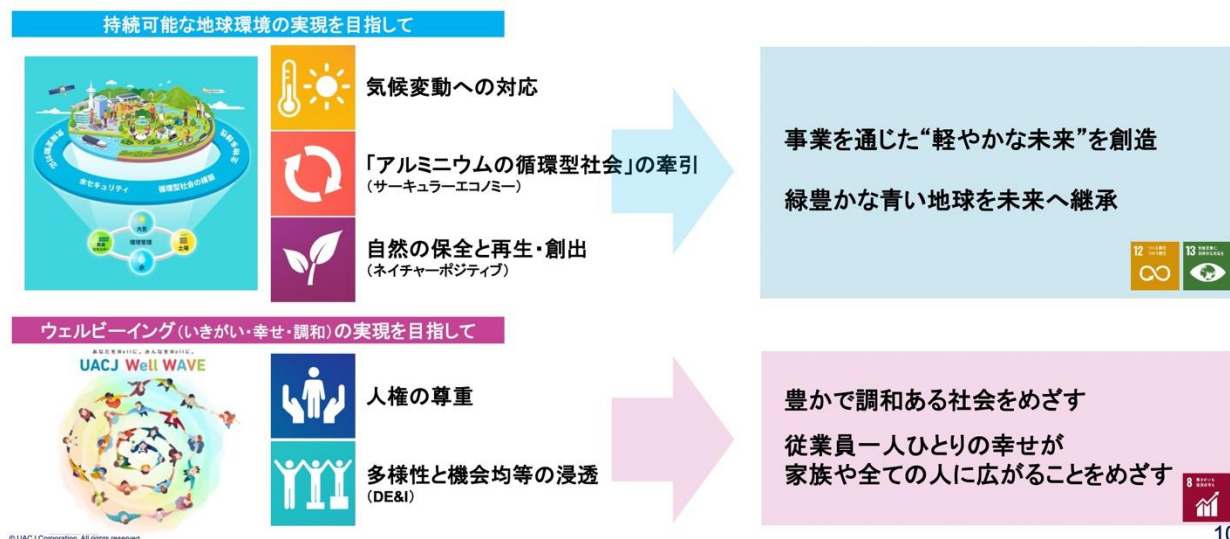
現行のマテリアリティについては、第3次中期経営計画の非財務のKPIともなっておりますので、その実績と総括は、次回のIR Dayにおいてご報告申し上げますこととします。

### サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375  
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

## サステナビリティを通じた、UACJグループの価値提供の在り方

培ってきたチカラと人材力を最大限に発揮し、UACJグループならではの価値を創出する



最後に、サステナビリティを通じた UACJ グループの価値提供のあり方、UACJ グループが持続的に成長し続けるためには、アルミニウムが環境に優しい素材であることを広く皆様にご認識いただき、知っていただき、さらにアルミニウムの活躍の場がどんどん広がっていく、これが必要不可欠だろうと感じております。

この使命感の下、UACJ グループは、社会に対してよりよいインパクトのある、実効性の高い活動を推進してまいります。

その一つが、ALmitas+ (アルミタス) というインブランディング戦略です。「これもアルミでできているのだ」と感動していただける、そういう取り組みを進めてまいりたいと思っております。

1898 年に大阪で日本初めてのアルミニウム圧延事業が始まりました。ここから 125 年受け継いできた技と術、また統合を機に構築したグローバルでの事業基盤を生かして、これからもアルミの力で新たな価値を創出し、軽やかな世界の実現を目指してまいりたいと思います。

今後も、当社はこの企業理念、企業価値の向上に努め、そしてステークホルダーの皆様方のご期待に応えてまいりたいと思います。より一層のご支援を賜りますよう、あらためてお願い申し上げます。

以上、私からのプレゼンテーションでございます。どうもありがとうございました。

### サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

上田：石原社長、ありがとうございました。続きまして、美しく豊かな地球がずっと続く未来へというテーマで、取締役常務執行役員の田中信二よりご説明申し上げます。



**UACJ**  
Aluminum lightens the world  
アルミでかなえる、軽やかな世界

## 美しく豊かな地球がずっと続く未来へ

取締役 常務執行役員  
サステナビリティ推進本部長  
田中 信二

2023年12月7日  
株式会社UACJ

© UACJ Corporation. All rights reserved.



田中：あらためまして、おはようございます。サステナビリティ推進本部の田中でございます。このパートでは、美しく豊かな地球がずっと続く未来へというテーマで、環境にかかわる取り組みについてご説明します。

### サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com





## UACJが目指す“軽やかな世界”へ導く羅針盤



### 100年後の軽やかな世界のために

私たちの毎日の暮らしを支える素材、アルミニウム。自由にカタチを変え、無限の可能性を持つ素材。同じものとして、何度でも生まれ変わることができる。この特徴は、アルミニウムならではの。言わば「サステナブル(持続可能)な素材」です。

そんなアルミニウムの持つ力を技と術で引き出してきたUACJだからできること。

それは、美しく豊かな地球がずっと続く未来が実現できるよう、これまで受け継いできた叡智と情熱を胸に地球環境が抱えるさまざまな課題と向き合い環境に配慮した事業を営んでいくこと。

さらに、誰もが幸せを感じられる健やかで調和のとれた社会が実現するよう、あらゆる人々の多様性を尊重し地域社会との共生・共創を通して、ステークホルダーの皆さまとともに社員一人ひとりが、考え、行動すること。

アルミとあしたへ。未来の子どもたちに、美しい地球を。サステナブルな社会を。それがUACJの考える「軽やかな世界」です。

1

この図は、先ほど石原からも説明がありましたように、サステナビリティ活動で目指す方向性を羅針盤として表現したものです。羅針盤の上部には、環境に関するマテリアリティ、下には社会、人に関するマテリアリティを示しています。

ここでは、環境に関する重要課題に対する取り組みについてお話しします。

### サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com



## 美しく豊かな地球がずっと続く未来へ



### UACJグループの考える環境コンセプト

#### 緑豊かな青い地球に感謝し、アルミニウムをさらに究めて、持続可能な社会形成に貢献して参ります

アルミニウムは毎日の生活になくてはならない身近なライフラインを支える素材であるとともに、モビリティ、宇宙産業、ヘルスケア、IT など幅広い分野で活躍する素材。アルミニウムを使うことで、資源エネルギーの節減や環境負荷を減らせるなど、さまざまな可能性を秘めています。

そんなアルミニウムの生産に、多くの地球の資源を利用してきたUACJだからこそ、環境への取り組みには従来から真摯に向き合ってきました。環境関連の法令や基準を遵守するのはもちろんのこと、取水量の削減や利活用など、「水」「土壌」「大気」「資源エネルギー」といったあらゆる観点から私たちの“当たり前”として取り組んできました。

そして今、私たちは、社会や地球といった私たちを取り囲むすべてに視野を広げています。たとえば、資源循環の心臓の役割を果たすこと。バリューチェーン全体で温暖化ガス排出量を最小化し、カーボンニュートラルを実現すること。さらに、水資源など自然を保護することに留まらず、再生・創出につながるポジティブな活動を展開すること。

私たちUACJグループは、アルミニウムの可能性をさらに追及して、環境への取り組みを続けていきたいと思えます。未来の子どもたちに軽やかに豊かな社会を渡すために。

2

UACJグループが考える環境への貢献は、美しく豊かな地球がずっと続く未来に向けての行動です。マテリアリティの見直しにあたって、あらためて当社が貢献したい分野、領域、また大切にしていることを見直し、その思いを形にしたのがこの環境コンセプトとなります。

これまでずっと当たり前として取り組んできた、環境管理活動を土台とし、さらに視野を広げ、気候変動への対応、水セキュリティ、環境型社会の構築、生物多様性の確保に取り組んでまいります。

### サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

「美しく豊かな地球がずっと続く未来」のために取り組んでいく重要課題



「アルミニウムの循環型社会」の牽引(サーキュラーエコノミー)

アルミニウム循環によるサーキュラーエコノミーの推進は、気候変動や自然の保全の課題を解決するために必須であり  
UACJグループ全体でアルミニウムの可能性をさらに追及することは、社会や環境に大きく貢献できる



気候変動への対応

急激な気候変動への対応は社会全体で取り組むべき喫緊の課題であり、自社での取り組みはもちろんのこと、  
アルミニウムの利活用の機会拡大に取り組むことは社会全体のCO<sub>2</sub>等のGHG排出量の削減につながり  
持続可能な社会形成に大きく貢献できる



自然の保全と再生・創出(ネイチャーポジティブ)

これまで「当たり前」に取り組んできた環境管理活動の継続に加え、水セキュリティ等のサプライチェーン全体で取り組むことで、  
未来の子どもたちに軽やかに豊かな社会を渡していくことができる

© UACJ Corporation. All rights reserved.

3

環境分野のマテリアリティが目指すところは、「美しく豊かな地球がずっと続く未来」を実現することにあります。

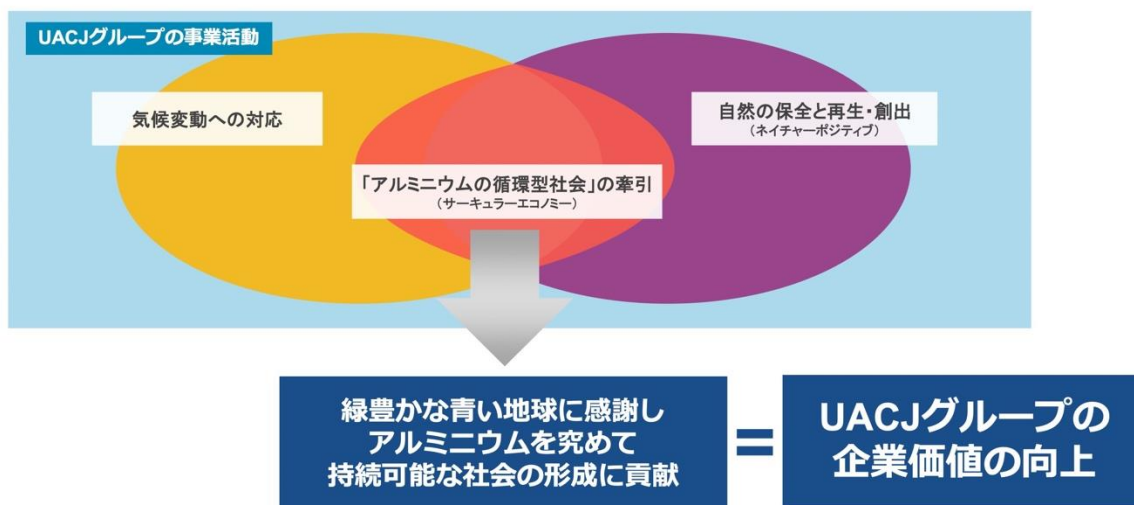
新たなマテリアリティでは、アルミニウムの循環型社会の牽引、これまでと同様に気候変動への対応、自然の保全と再生・創出を挙げ、これらはSDGsのゴール12「つくる責任、つかう責任」、ゴール13「気候変動に対する具体的な対策」に合致し、事業を通じて、軽やかな未来の創造へつなげていきたいと思っております。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

## 環境分野 3つのマテリアリティの関係

3つのマテリアリティそれぞれが独立する課題ではなく、互いに関連性を持ち、支え合い、融合する関係にあることで、UACJグループの目的「緑豊かな青い地球の持続可能な社会形成に貢献する」につながる



© UACJ Corporation. All rights reserved.

4

環境分野におけるこの3つのマテリアリティは、独立したものではなく、お互いに関連性を持ち、支え合い、融合する関係にあることで、UACJグループの環境活動の目的である「緑豊かな青い地球に感謝し、アルミニウムを究めて、持続可能な社会の形成に貢献しよう。」につながるものです。

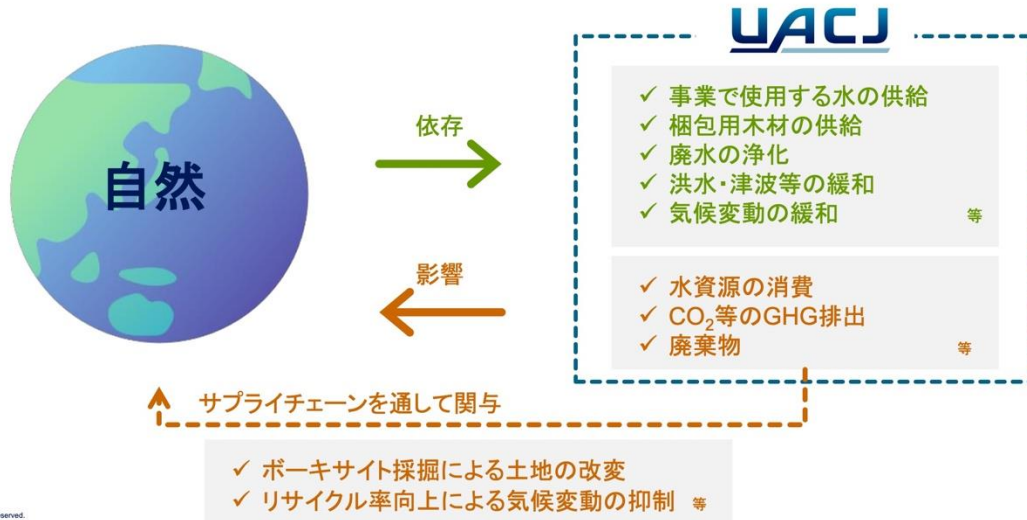
ひいては、UACJグループの企業価値の向上につながっていくものと確信しています。

### サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

## 自然の保全と再生・創出（ネイチャーポジティブ）

事業活動を通じ、様々な自然から恩恵を受け、同時に影響を与えていることを自覚し、  
自然から受けるリスクの回避・低減と、UACJグループだからできる自然の回復への貢献に努める



6

それぞれのマテリアリティについて説明してまいります。

はじめに「自然の保全と再生・創出（ネイチャーポジティブ）」です。当社にとってのネイチャーポジティブ、自然と当社の事業活動の関連性を示したものです。

依存という観点では、事務所で使用する水の供給、梱包用の資材として使用する木材の供給等があります。依存には、事業活動での排水を浄化する河川等の自浄作用や、排出されたCO<sub>2</sub>を吸収するという森林生態系の気候変動緩和機能も含まれております。

一方で、影響に関しては、製造工程での水の消費、CO<sub>2</sub>の排出、廃棄物等があり、サプライチェーンを通じたポーキサイト採掘による土地の改変等が挙げられます。

自然に当社の事業活動を支えられている、事業活動を通じて自然からさまざまな恩恵を受け、同時に影響を与えていることを自覚し、自然から受けるリスクの低減と、UACJグループだからこそできる自然の回復への貢献に努めてまいりたいと思います。

### サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

## ネイチャーポジティブへの取り組み例

UACJグループが取り組むネイチャーポジティブに関する主な活動には、  
 既存の環境活動(土壌、大気等)に加え、「原料」「水」「森林」に関わるものが挙げられる  
 自然の保全と再生・創出に関する活動がどのような影響や効果をもたらすかを把握しながら、取り組みを拡大

取り組み項目	得られる効果(例)
リサイクル原料の積極的な利用	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ボーキサイト採掘による土地改変の回避・低減</li> <li>● 新地金使用量の低減</li> <li>● 製品廃棄量の低減</li> <li>● 生産プロセスにおけるGHG排出量の削減</li> </ul>
水の循環利用	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 取水量の低減</li> <li>● 水の循環利用の推進による、水リスクへの対応強化</li> <li>● 水利用による生態系への影響の回避・低減</li> </ul>
森林の積極的な保全	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 循環型資源である木材・木質資源の供給への貢献</li> <li>● 炭素吸収量、固定量の増加</li> <li>● 森林における自然再生・回復</li> <li>● 森林による水源涵養</li> </ul>

© UACJ Corporation. All rights reserved.

7

当社における、ネイチャーポジティブに関する取り組みの事例を示したものです。リサイクル原料の積極的な利用では、土地改変の回避、低減につながり、水の循環利用においては循環利用を積極的に果たすことで、取水量の低減となり、生態系への影響の回避、また森林の積極的な保全を挙げています。

### サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375  
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

## Scope3におけるCO<sub>2</sub>削減目標の設定

Before

活動指針

- Scope1・2においては、2050年カーボンニュートラルへ挑戦
- Scope1・2においては、2030年度 30%の削減を目指す
- Scope3においては、サプライチェーンの様々なパートナーとの協業に取り組み、リサイクル最大化、かつ、サプライチェーン全体でのCO<sub>2</sub>排出最小化を目指す

After

活動指針

- Scope1・2においては、2030年度は30%削減<sup>\*1</sup>を目指し、2050年はカーボンニュートラルへ挑戦
- Scope3においては、  
✓ 2030年度はリサイクルの拡大等により30%削減<sup>\*2</sup>を目指し、  
2050年はサプライチェーンの様々なパートナーとの協業に取り組み、リサイクル最大化、かつサプライチェーン全体でのCO<sub>2</sub>等のGHG排出削減活動を行い、GHG排出最小化を目指す

\*1 2019年度比・原単位  
© UACJ Corporation. All rights reserved. \*2 2019年度比・原単位、Category1(購入した製品・サービスを指す。原材料の調達、パッケージングの外部委託、消耗品の調達。)

9

続いては、気候変動への対応です。2022年度においては、Scope1に関して具体的な目標値を掲げました。このたび、Scope3についてもCO<sub>2</sub>削減目標を設定しました。スライドの下段、Afterが、この2030年度に向けたScope3の目標値です。

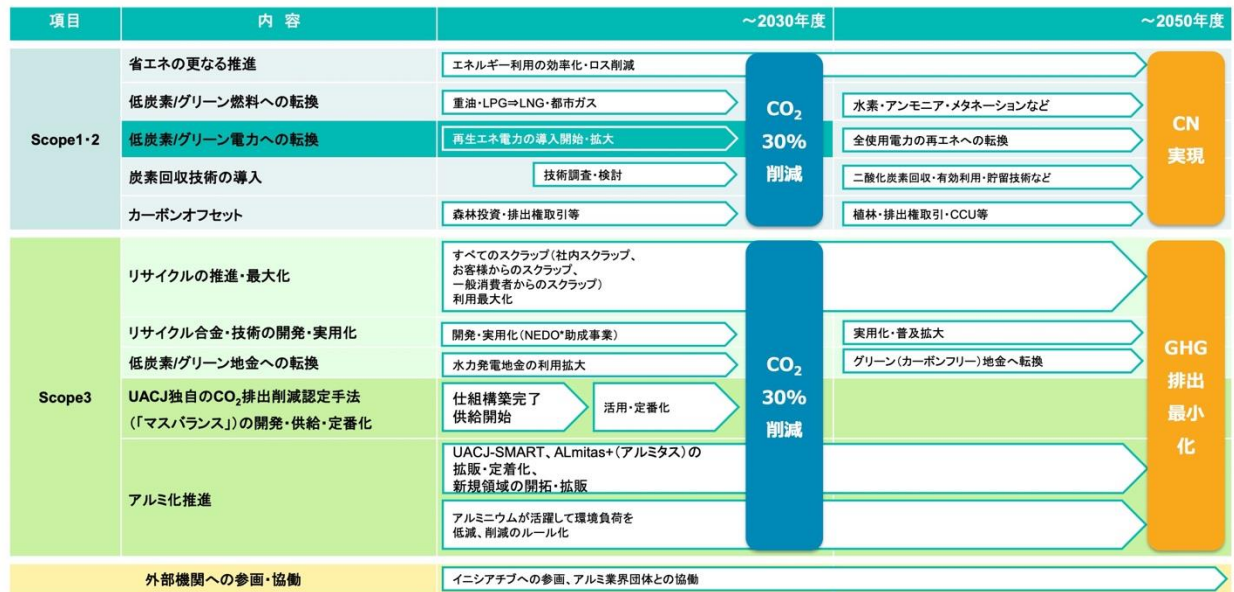
Scope3においては、2050年はサプライチェーンのさまざまなパートナーとの協業に取り組み、リサイクルの最大化、かつサプライチェーン全体でのCO<sub>2</sub>等のGHG排出削減活動を進め、GHG排出の最小化を目指してまいります。

その途中にあたる2030年度は、リサイクルの拡大等によって、その目標を30%としました。

### サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

# 気候変動対策推進のロードマップ



© UACJ Corporation. All rights reserved. \*国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構

10

Scope1 から 3 の気候変動対策推進のロードマップを示しております。Scope1、2 については、目標設定とともに、既に各種具体的な取り組みがスタートしております。

## サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375  
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com





## 製造工程での脱炭素

### 加工品の17拠点を「再エネ100%工場」へ

- ☀ 再エネ電力100%工場の一覧(計17拠点)
- ・株式会社UACJ押出加工名古屋(安城製作所)
- ・株式会社UACJ押出加工群馬
- ・株式会社UACJ押出加工滋賀
- ・株式会社UACJ鋳鍛(鋳鍛工場、鋳鍛第二工場)
- ・株式会社UACJ金属加工  
(仙台工場、成田工場、恵那工場、滋賀工場、広島工場)
- ・株式会社ナルコ郡山
- ・株式会社UACJアルミセンター  
(宇都宮カラーアルミ工場、滋賀工場、奈良工場)
- ・泉メタル株式会社
- ・鎌倉産業株式会社
- ・株式会社UACJ Marketing & Processing



- ☀ 100%再生可能エネルギー由来の電力(以下「再エネ電力」)を年間約220GWh購入(2023年4月から実施)
- ☀ UACJグループの国内主要17製造拠点をScope2のCO<sub>2</sub>排出量がゼロとなる「再エネ電力100%工場」へ
- ☀ CO<sub>2</sub>排出量を年間約10万トン削減※を実現  
⇒UACJグループのScope2・CO<sub>2</sub>排出量の約20%に相当  
※一般家庭に換算した場合、約54,000世帯の年間排出量に相当

最終製品に近い製品の製造拠点から実施することで、顧客のScope3・CO<sub>2</sub>排出量削減にも貢献できる

11

Scope2 においては、製造工程での脱炭素の施策として、再生可能エネルギーの導入開始、拡大を進めております。当社グループでは、本年4月から、Scope2の20%に相当する電力を再生可能エネルギー由来に切り替え、CO<sub>2</sub>の排出量を10万トン削減しました。

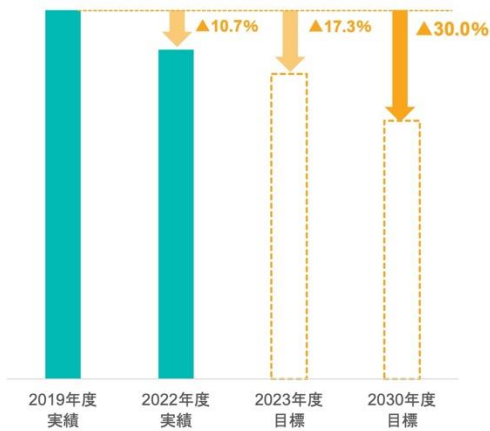
これにより、グループ会社のうち国内17の拠点が100%再生可能エネルギー工場となりました。

## サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

## Scope1, 2における CO<sub>2</sub> 排出量削減実績と目標

CO<sub>2</sub>排出削減目標  
(Scope1, 2、2019年度比・原単位\*)



より積極的な施策を着実に実行し、  
2030年度におけるScope1, 2での30%削減達成を目指す

- 省エネルギー化の一層の加速
- CO<sub>2</sub>排出量の少ない燃料への転換
- 再生可能エネルギーの導入促進
- CO<sub>2</sub>削減に貢献する技術開発の推進
- CO<sub>2</sub>削減に関するイニシアチブへの参画
- 積極的な情報開示

等

対象拠点は、【国内】 UACJ(名古屋、福井、深谷)、UACJ押出加工名古屋(名古屋、安城)、UACJ押出加工小山、UACJ押出加工滋賀、UACJ押出加工群馬、UACJ製箔(滋賀、野木、伊勢崎)、UACJ鋳造、UACJアルミセンター(宇都宮カラーアルミ)、  
【海外】 UACJ (Thailand) Co., Ltd.、UACJ Extrusion Czech s.r.o.、UACJ Extrusion (Thailand) Co.,Ltd.、UACJ Foundry & Forging (Vietnam) Co., Ltd.、UACJ Foil Malaysia Sdn. Bhd.、UACJ Automotive Whitehall Industries, Inc. (本社ミシガン地区、PADUCAH、SANMIGUEL、FLAGSTAFF)。

© UACJ Corporation. All rights reserved.

2019年度比・原単位。第6次エネルギー基本計画（経産省2021年）を用いて算出。

12

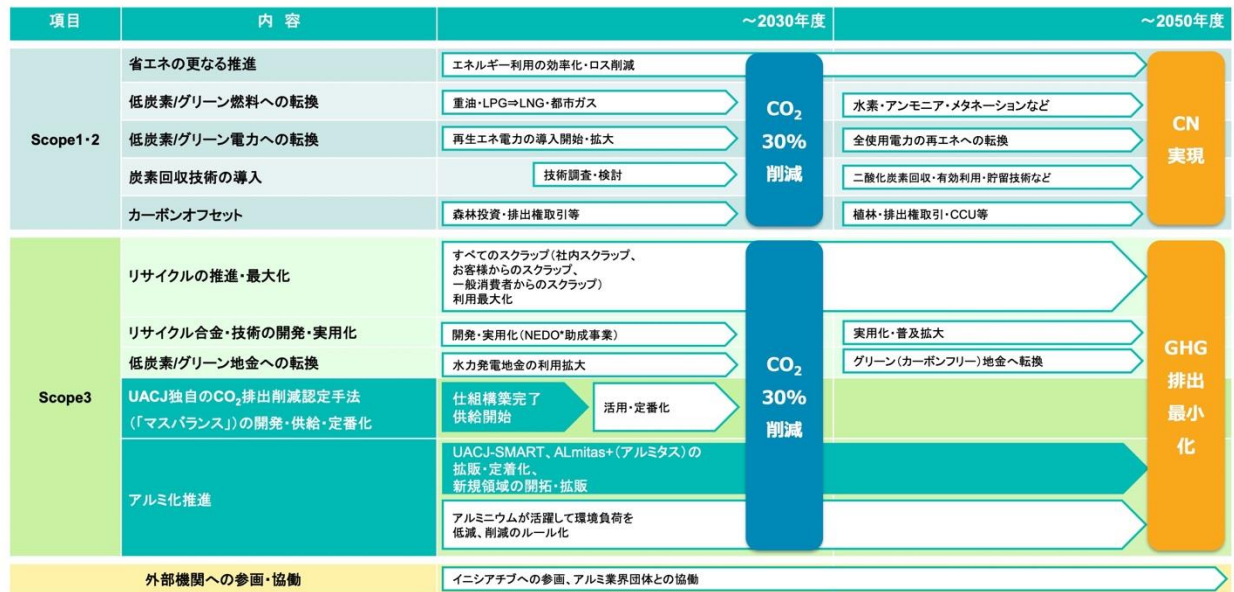
Scope1, 2のここまでの実績値と目標値を示しております。2022年度の実績値は、2019年度比10.7%の削減となりました。

その他、Scope1においては、CO<sub>2</sub>排出量の少ない燃料への転換や溶解炉の省エネなどを挙げ、これらの施策は着実に進行中です。

### サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

## 気候変動対策推進のロードマップ



© UACJ Corporation. All rights reserved. \*国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構

13

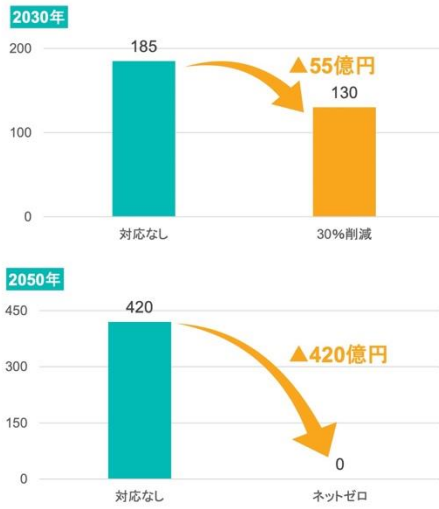
さらに、Scope3においては、目標値設定とともに、既に具体的な施策を取り組み始めております。この表に通り、一部のお客様に対してはUACJ-SMART マスバランスによる供給が開始され、また、アルミ化推進におきましては、次のパートで説明がありますが、ALmitas+ブランドの立ち上げ等があります。

これらに加え、さらに効果的な施策を推進することで、カーボンニュートラル挑戦宣言の達成につながってまいります。

### サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

# TCFD リスク/機会の評価と対応策



炭素税の財務影響額試算

その他のTCFDにかかるリスク/機会の重要度評価と対応策は、UACJ Report 2023「サステナビリティの進化 環境対応活動」(p63-64)をご覧ください  
[https://www.uacj.co.jp/ir/library/pdf/2023/03\\_2023uacjr.pdf](https://www.uacj.co.jp/ir/library/pdf/2023/03_2023uacjr.pdf)

© UACJ Corporation. All rights reserved.

TCFDのシナリオ分析は「令和3年度TCFDに沿った気候リスク・機会のシナリオ分析支援事業（環境省）」の支援により実施

## 主なリスク/機会の評価と対応策

		炭素価格 (炭素税・環境改善調整)	各国の炭素排出目標/政策 (排出量取引、カーボン・フット・プリントの報告義務化等)
事業インパクト	指標	収益支出	収益支出
	リスク	<ul style="list-style-type: none"> <li>輸入原料・資材の調達コスト増加</li> <li>電力コスト増</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>排出権買収費用による原料調達・製造コスト増加</li> <li>アルミニウムスクラップ溶解炉や燃料転換、省エネ等の設備更新・導入等の費用の増加</li> <li>カーボン・フット・プリントの記録・報告義務化にともなう、製造管理コストが増加</li> </ul>
	機会	<ul style="list-style-type: none"> <li>GHG排出量抑制が不十分な国・地域による製品の競争力低下に伴う当社製品販売機会と収益の増加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新地金(エネルギー集約型の原料)の調達を減らすことにより炭素税などのコスト軽減が可能</li> <li>規制強化により、他素材からの切り替え需要が増加</li> <li>アルミニウムの軽量性や高熱効率、リサイクル率の高さを生かした収益増加の機会</li> </ul>
対応策	評価	大	中
	区分	適応	
	リスク対応策案	<ul style="list-style-type: none"> <li>長期的なCO<sub>2</sub>排出量削減目標の設定</li> <li>長期的なエネルギー使用量削減目標の設定</li> <li>インターナルカーボンプライシングの導入</li> </ul>	
	機会の取り込み施策案	<ul style="list-style-type: none"> <li>長期的なCO<sub>2</sub>排出量削減施策の実施</li> <li>森林等のCO<sub>2</sub>の吸収とクレジット制度の活用</li> <li>削減貢献量の評価方法構築</li> <li>脱炭素に向けた、官民連携・国際協力による省エネ技術の移転</li> </ul>	

TCFDのシナリオ分析による結果を紹介します。本分析は、環境省の支援事業として取り組みを進めております。

この中でも、とりわけ事業に大きな影響を及ぼす可能性が高いのが炭素税です。IEAによるシナリオ炭素価格で算出した場合、左上のように、2030年にCO<sub>2</sub>排出を30%削減できれば、対応しなかった場合と比較し55億円のリスク低減、2050年のカーボンニュートラル達成では、420億円ものリスクの低減につながります。

また、CO<sub>2</sub>の排出削減はリスクのみならず、当社にとっての大きな機会でもあります。環境に配慮した製品のラインナップにより、お客様には当社製品に素材+αの価値を提供し、販売機会の拡大、収益の増加、選ばれ続けるUACJにつなげていきたいと考えています。

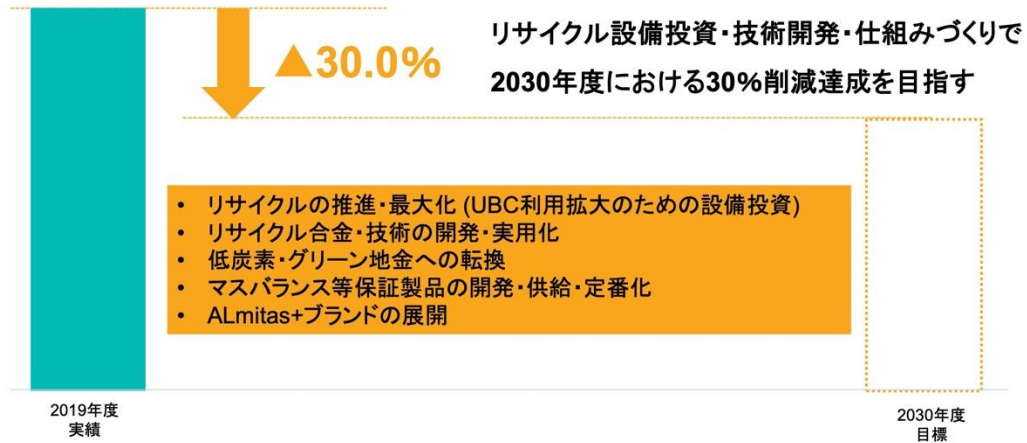
## サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375  
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com



## Scope3 における CO<sub>2</sub> 排出量削減実績と目標

CO<sub>2</sub>排出削減目標  
(Scope 3、2019年度比・原単位\*)



\*Category1(原材料)における。  
対象拠点は、【国内】UACJ(名古屋、福井、深谷)、UACJ押出加工名古屋(名古屋、安城)、UACJ押出加工小山、UACJ押出加工滋賀、UACJ押出加工群馬、  
【海外】UACJ (Thailand) Co., Ltd、UACJ Australia Pty. Ltd.

© UACJ Corporation. All rights reserved.

15

今回新しく公表した、Scope3 の目標値です。こちらは Scope1、2 と同様、2019 年度比で CO<sub>2</sub> 排出原単位 30%削減とするもので、

当社グループで排出する CO<sub>2</sub> は、Scope3 は全体の 8 割を超え、さらにその Scope3 の中でも Category1 と呼ばれる、原材料に起因するものが 9 割を占めています。

したがって、当社が Scope3 の削減、とりわけリサイクル率の向上に努めることは、CO<sub>2</sub> の削減に大きく寄与する非常に重要な取り組みとなります。

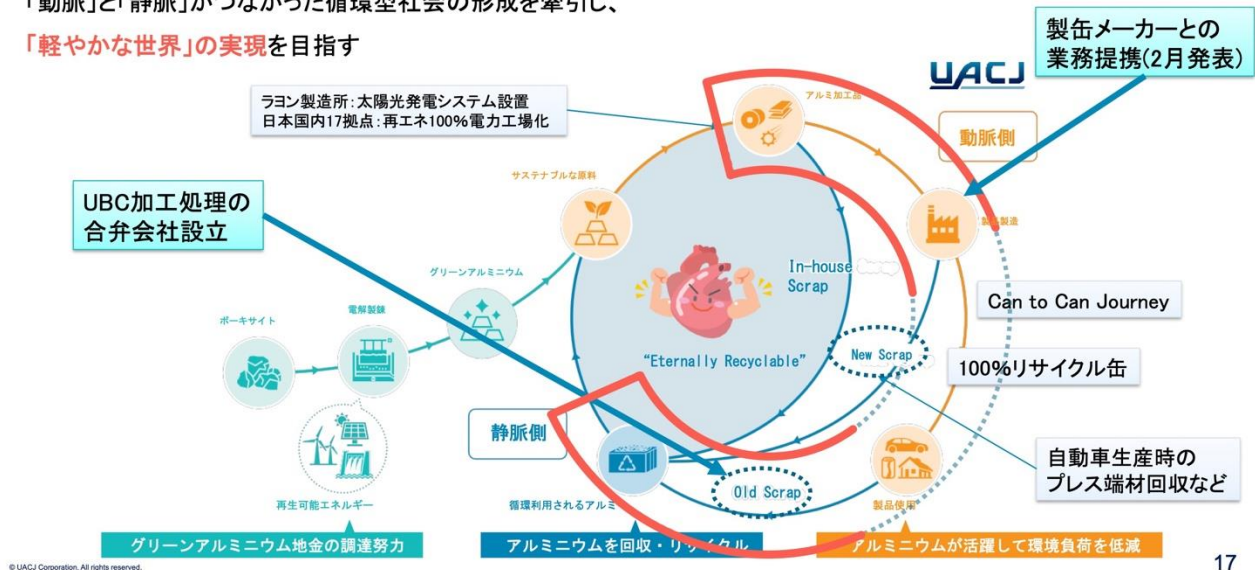
Scope3 の削減においては、その他リサイクル設備へ効果的な投資、技術開発、またサプライチェーンを巻き込んだ仕組みづくり等を強化し、2030 年における 30%の削減の達成を確実に目指してまいります。

### サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

## 「アルミニウムの循環型社会」を牽引する存在へ

「動脈」と「静脈」が繋がった循環型社会の形成を牽引し、  
「軽やかな世界」の実現を目指す



17

環境に関する3つのマテリアリティ、3つ目のアルミニウムの循環型社会の牽引についてご説明します。

この絵はこれまでも何度かご説明させていただいた、アルミニウムの循環型社会の構築に向けた活動の広がりを示しております。UACJが心臓となり、アルミニウム素材を送り出す動脈と、使用済みアルミとして戻す静脈は確実につながりつつあります。

使用済みアルミニウム缶加工処理の合併会社設立、あるいは製缶メーカーとの業務提携など、具体的な事例が進行中です。製缶メーカーとの業務提携については、次のプレゼンテーションのパートでご紹介します。

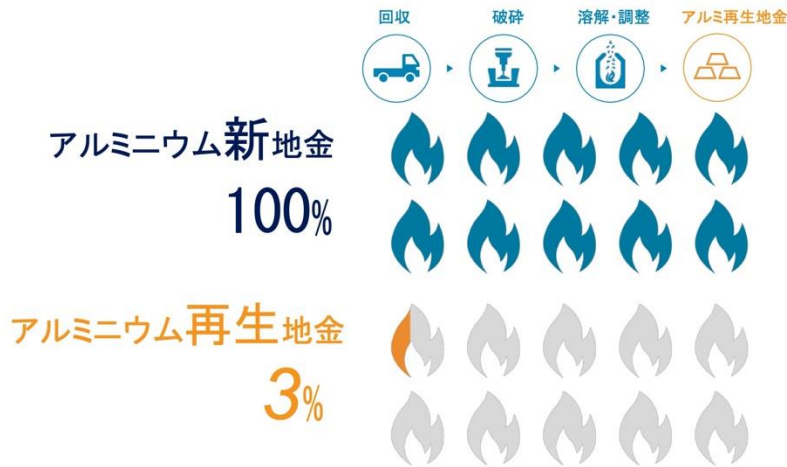
### サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

## アルミ新地金とアルミ再生地金を得る時のエネルギーの違い

鉱石から取り出されたアルミニウム（金属）はわずかなエネルギーで再溶解できる

### アルミ再生地金の製造工程とGHG排出量



出所: 日本アルミニウム協会

18

© UACJ Corporation. All rights reserved.

このスライドは何度か見ていただいておりますが、アルミニウム新地金を作る場合と、再生アルミ地金を使う場合のエネルギーの違いを示したものです。

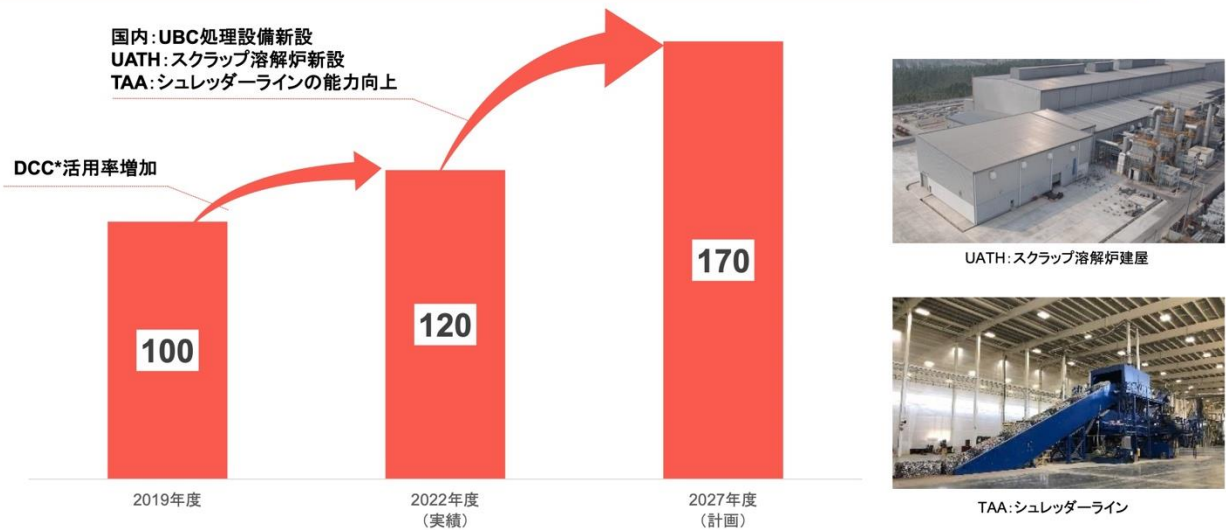
新地金精錬と比較し、アルミニウム再生地金を使用する場合には、必要とされるエネルギーはわずか3%となります。

これが環境に優しい、あるいはリサイクル性に優れたといわれるゆえんです。また、一度金属としてアルミニウムを取り出せば、環境負荷の低い再溶解工程によって、アルミは何度でも使うことができるという特徴があります。

## サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

## 使用済みアルミ缶(UBC)の活用量について



日本・UATH・TAAにおける2019年度UBC活用量実績を100としたときの各年度の推移

© UACJ Corporation. All rights reserved. \*DCC UBCの破砕・選別・焙焼等を行い、塗料を飛ばしたものを、Delacquered Can Chip

19

こちらの図は、日本、タイ、北米の3拠点におけるUBCの使用量の現状、および今後の予定を示したものです。

数あるアルミニウム製品の中でも、飲料缶のサイクルは、アルミニウムの循環型社会の形成に欠かせません。

直近の2022年度においても、2019年度比でこのUBCの使用量は20%の増加、2027年度までには、日本のUBC処理施設の新設、あるいはタイのスクラップ溶解炉の新設、また北米においてはシュレッダーラインの能力増強等々の施策を展開し、2027年度には2019年度比で70%増を計画しています。

### サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com



## UACJのリサイクル率(循環アルミの使用率)の定義と目標

UACJグループでは、アルミニウムの資源循環性を示す当社指標として「**UACJリサイクル率<sup>\*1</sup>**」を定義。

明確な目標値を掲げ、グループ一丸となってサーキュラーエコノミーの実現に向けて取り組んでいく

<sup>\*1</sup> 社内における資源循環の活動目標を示すものであり、個別製品毎の指標を表すものではありません

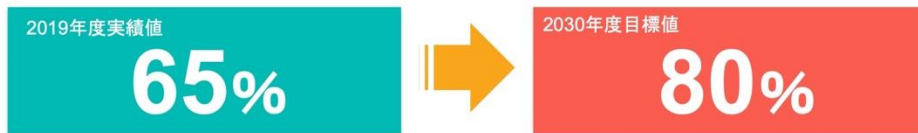
### ● 「UACJリサイクル率」算出の定義

$$\frac{\text{循環アルミ量}}{\text{溶解炉への装入量}} \times 100$$

“循環アルミ量”とは  
 ・PIRスクラップ<sup>\*2</sup>  
 ・PCRスクラップ<sup>\*3</sup>  
 ・当社社内の全工程で発生するスクラップ  
 を合算した値

“溶解炉での装入量”とは  
 ・アルミニウム新地金、添加金属  
 ・PIRスクラップ  
 ・PCRスクラップ  
 ・当社社内の全工程で発生するスクラップ  
 を合算した値

### ● 「UACJリサイクル率<sup>\*1\*</sup>」目標



<sup>\*1</sup> 純アルミ(1000系、8000系)材を除く

<sup>\*2</sup> PIRスクラップ Post-Industrial Recycled スクラップ。製造業での素材の加工段階で発生するスクラップ

<sup>\*3</sup> PCRスクラップ Post-Consumer Recycled スクラップ。使用済製品に由来するスクラップ

<sup>\*4</sup> 対象拠点は、【国内】UACJ(名古屋、福井、深谷)、UACJ押出加工名古屋(名古屋)、UACJ押出加工小山、【海外】UACJ(Thailand) Co., Ltd.

© UACJ Corporation. All rights reserved.

20

次に、UACJリサイクル率、循環アルミの使用率についてご説明します。UACJリサイクル率は、アルミニウムの資源循環性を示す指標です。リサイクルという表現は、現状もさまざまな定義で使用されておりますので、誤解を生じないためにも、ここではUACJリサイクル率とさせていただきます。

定義はこの式で示すとおりです。アルミの溶解時にどれだけの循環アルミを使用したか、この数字が高ければ高いほど、アルミニウムの新地金を使わずリサイクル原料を多く使用していることになります。

このリサイクル率向上においても、各種施策を展開し、2019年度は65%というベンチマークですが、2030年度においてはこの数値を80%まで引き上げていきたいと考えております。

## サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375  
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

## UACJグループがリサイクルを推進する意義

### UACJグループの「リサイクル推進」とは

⇒溶解段階における新地金の使用量を低減すること

アルミニウムのリサイクル推進がかなえる「軽やかな世界」

「アルミニウムの  
循環型社会」の牽引  
(サーキュラーエコノミー)

- アルミニウムの利活用を拡大し、資源循環の輪を広げる
- 当社グループ内外を問わず、スクラップを最大限活用することは、新地金の使用量を最小化し、それとともに同一製品へのアルミニウムの循環(水平リサイクル)を促進

気候変動への対応

- リサイクルの推進により、CO<sub>2</sub>等のGHG排出量を削減  
(再生した原料を活用するために必要なエネルギーは、新地金を活用するときに比較して最大3%)

自然の保全と再生・創出  
(ネイチャーポジティブ)

- 新地金の使用抑制により、新たなボーキサイトの採掘を抑制でき、自然への影響を軽減

## UACJだからこそできる、アルミニウムのリサイクル推進に取り組む

© UACJ Corporation. All rights reserved.

21

UACJ リサイクル率の向上は、アルミニウム新地金の低減を意味します。新地金の使用率を最小化することで、Scope3のCO<sub>2</sub>削減、カーボンニュートラル挑戦宣言の達成につながってまいります。さらには、ネイチャーポジティブにも好循環を与えてまいります。

これらを実現していくためには、アルミニウム活躍の場が増えていくことが必要不可欠になります。アルミニウム製品のリサイクルをすることで、循環型社会の形成、気候変動への対応、自然の保全と再生・創出、ネイチャーポジティブへの貢献、UACJだからこそできる環境への貢献をしてまいります。

### サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

## 美しく豊かな地球がずっと続く未来へ



© UACJ Corporation. All rights reserved.

22

本年は、国内におけるアルミニウム圧延開始から125年目の節目の年です。この125年で培ってきた技と術を余すことなく活用し、これからの10年、その先の100年に美しく豊かな地球がずっと続くよう、また、これらをビジネスチャンスに広げていけるよう取り組んでまいります。

田中からは以上でございます。どうもありがとうございました。

**上田**：田中さん、ありがとうございました。続きまして、事業の持続可能性を支える技術について、専務執行役員、マーケティング・技術本部長の平野清一よりご説明申し上げます。

### サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com



## 事業の持続可能性を支える技術

専務執行役員 マーケティング・技術本部長  
平野 清一

2023年12月7日  
株式会社UACJ

© UACJ Corporation. All rights reserved.



**平野：** マーケティング・技術本部の平野でございます。

マーケティング・技術本部は今年4月に新設した部門で、R&Dセンターおよびモビリティテクノロジーセンターの研究開発部門を本部内に取り込み、加えてマーケティング部、および情報調査部を新設しました。技術とマーケティング活動を高次に融合させ、マーケットにアルミニウムのさらなる活用を働きかけてまいります。

本日は、事業の持続可能性を支える技術について、現状および将来にどのように結びつけるか、事例を交えながらご紹介します。

### サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com



## 企業理念の実現を支えるUACJグループの知的資本



### 企業理念

素材の力を引き出す技術で、持続可能で豊かな社会の実現に貢献する。

### 目指す姿

アルミニウムを究めて環境負荷を減らし、軽やかな世界へ。

### 価値観

- ▶ 相互の理解と尊重
- ▶ 誠実さと未来志向
- ▶ 好奇心と挑戦心

© UACJ Corporation. All rights reserved.

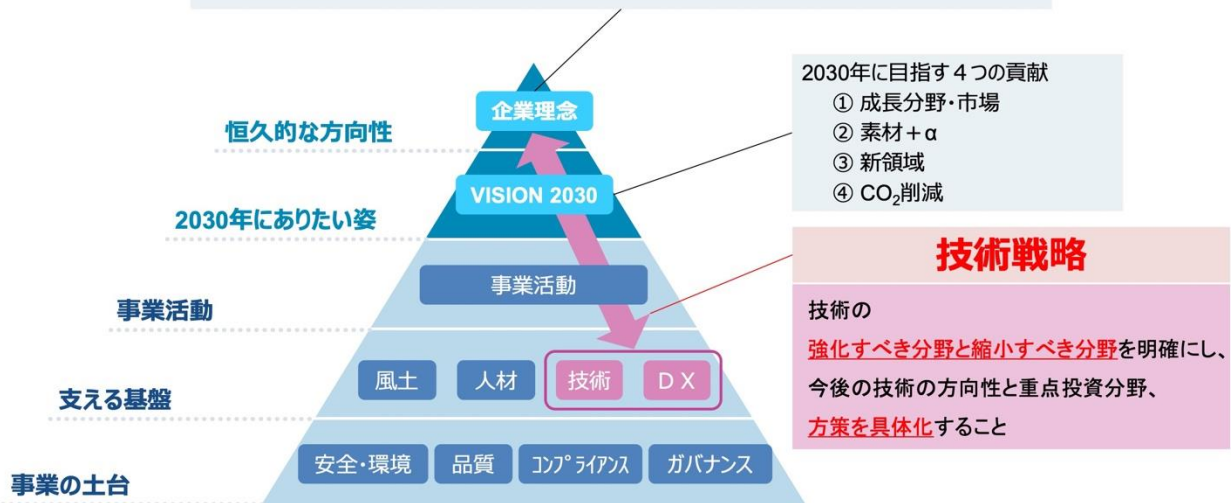
1

最上位の概念である企業理念の実現を支える知的資本、技術について今日は紹介させていただきます。

## 企業理念の実現を支えるUACJグループの技術の活用

企業理念： 素材の力を引き出す技術で、持続可能で豊かな社会の実現に貢献する

目指す姿： アルミニウムを究めて環境負荷を減らし、軽やかな世界へ



© UACJ Corporation. All rights reserved.

2

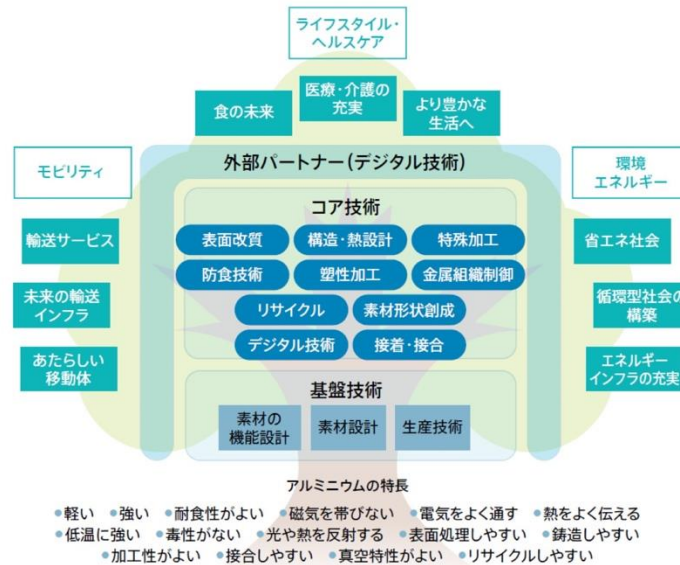
技術の活用としては、企業理念、素材の力を引き出す技術、技と術で持続可能と、こういうキーワードを意識して、目指す姿「アルミニウムを究めて環境負荷を減らし、軽やかな世界へ。」をベースとしております。

### サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

長期ビジョン VISION 2030 の 4 つの貢献、成長分野・市場、素材+α、新領域、CO2 削減に対して技術を活用してまいります。

## UACJグループが目指す技術開発の方向性



© UACJ Corporation. All rights reserved. UACJ Report 2023「事業資本の進化」(p42) [https://www.uacj.co.jp/ir/library/pdf/2023/full\\_2023uacjr.pdf](https://www.uacj.co.jp/ir/library/pdf/2023/full_2023uacjr.pdf)

3

UACJグループが目指す技術開発の方向性を示しております。軽いなどの15ものアルミニウムの特徴をベースとして、基盤技術を有しています。

加えて、当社のコア技術を整理し、具体的に示しました。表面、加工などは、素材+αの展開に大いに関係する重要技術です。

UACJが持つ知的資本は、国内におけるアルミニウム圧延展開から125年の積み重ねの結果でもあります。アルミニウムの特徴、技術を生かして、特に1950年以降の70年間で、多くの製品を世の中に出してまいりました。

アルミニウムは地球上の資源量も多く、リサイクルしやすいなど、種々の特性があることから、継続して世の中の多くの製品に使われております。さらに+αの付加価値をつけた製品を世の中に出し続け、継続して社会に貢献できると確信しております。

今後は、VISION 2030 実現に向け、この図の周囲にありますように、モビリティ、ライフスタイル・ヘルスケア、環境エネルギーの分野に注力し、技術開発、製品化を進めてまいります。ここでは、デジタル技術の活用など、外部パートナーとも連携し、活動を促進してまいります。

### サポート

日本                      050-5212-7790    米国                      1-800-674-8375  
フリーダイヤル    0120-966-744    メールアドレス    support@scriptasia.com

## 培ってきた“技”と“術”を 素材+α の製品に活用



© UACJ Corporation. All rights reserved.

4

先ほどからご紹介しております、アルミニウムの15の特性です。これを、素材+αとなる製品に使ってまいります。

例えば、加工性がよいという特性です。アルミニウムは非常に塑性加工しやすく、さまざまな形状に加工することが可能です。紙のように薄い箔や、この写真のように、複雑形状の押出型材を1回の加工で容易に製造でき、飲料缶のように高速成形可能で、製品表面に精密加工することも比較的容易です。切削加工にも優れており、金型などの工具類や機械部品に使用されております。

アルミニウムは表面処理を生かしていける素材です。陽極酸化被膜処理（アルマイト処理）等、さまざまな表面処理が可能です。ちなみに、このアルマイトは日本人の発明でもあります。表面を硬くし、防食効果を高めることが可能です。また、アルマイト処理の際、自然発色や電解着色などによって多彩な色を付けることが可能で、例えば建築外装や包装材、IT機器など、デザイン性が強く求められる分野の材料としても最適です。

当社オリジナルのSDGsのバッジは当社グループで光輝材を利用して作ったもので、非常に光沢が美しいバッジとなっております。

### サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

## UACJグループにおける研究開発の強み

### 1 研究から量産化まで幅広い製品開発

アルミニウムに関する材料設計・分析、生産プロセスに関する基礎研究から、試験設備を活用した製品開発および利用技術開発まで、幅広い研究開発に取り組む

### 2 事業部門と連携した開発

6事業をすぐに支援できる、事業所に近い研究開発拠点の設置

### 3 125年の開発技術の蓄積

研究成果を掲載する **Technical Reports** を毎年刊行

### 4 お客様のニーズに対する丁寧な対応

時代の変遷へ柔軟に対応する研究開発体制の構築

### 5 日本最大規模、最高レベルのアルミニウムの研究拠点

欧米の同業他社に引けを取らない研究者200人体制、学位取得者数十名規模の大規模拠点

5

次に、当社の研究開発の強みを5つ挙げております。1点目は、研究から量産化まで見届ける研究開発を進めており、材料設計はもちろんのこと、基礎研究を生かして製品開発しております。研究部門内にはお客様と同様の試験設備を保有し、開発を促進しております。例えば、製缶設備などがございます。

2点目として、事業部門と連携した開発をしております。名古屋、福井、深谷などの製造所にはR&Dも併設して設置しております。

3点目として、技術の蓄積では、テクニカルレポートを毎年発刊するなど、研究活動を公表しております。100年以上前からの研究報告も保管、活用しております。

4点目として、お客様のご要望に応じた研究開発に努めており、ここでもお客様同様の試験設備を有効に活用しております。

5点目として、研究規模としては、欧米の同業他社とトップクラスの陣容を持っていると理解しております。

## サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com



1

**循環型社会に向けて、リサイクル、省エネルギー、CO<sub>2</sub>削減、DX等に貢献する技術重視**

2

**二兎を追う**

- ・既存技術の深堀
- ・新技術・新製品の開発

3

**強化分野と縮小分野の明確化**  
(基盤技術/生産技術・設備技術/製品開発)

© UACJ Corporation. All rights reserved.

6

次に、これからの UACJ を考えたときに、以下の 3 点を研究開発のポイントと考えております。1 点目は、田中から説明したマテリアリティに対して大きく寄与するものであり、これからの中核になると考えております。

2 点目、まず二兎を追う、既存技術が基本であり、これにつきましては継続して深掘りしてまいります。加えて、今まで以上に新技術、新製品に注力してまいります。マーケティング・技術本部を設置した理由もここにあります。

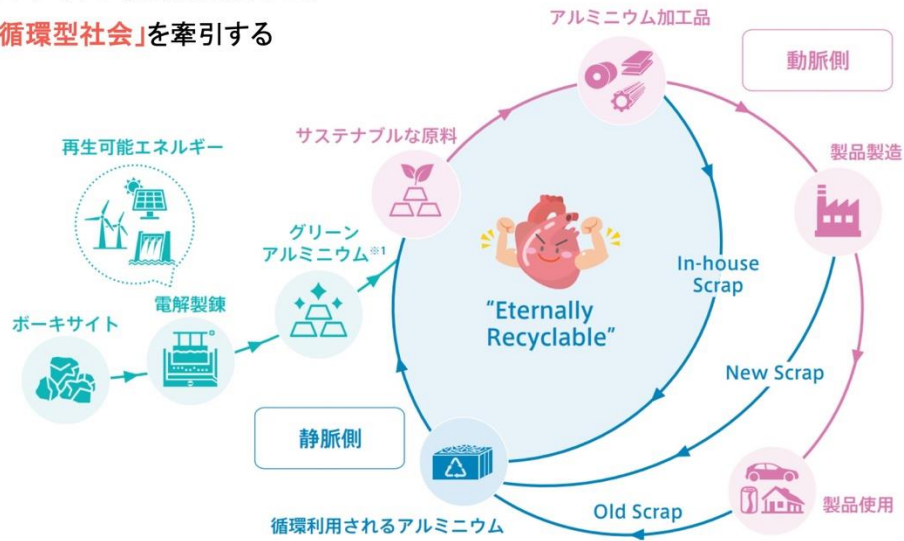
3 点目として、強化する分野、縮小する分野を明確にして進めてまいります。

### サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

## UACJグループが技術で実現したい世界

アルミ化の推進、リサイクル技術を発展させ、  
「アルミニウムの循環型社会」を牽引する



© UACJ Corporation. All rights reserved. ※1 再生可能エネルギーなどを電力源とした、環境負荷を低減して製造されるアルミニウム

7

このような製品の循環、グループの中で、アルミ化の推進、リサイクルを発展させるために技術を活用してまいります。製品開発から、例えば合金設計なども循環型社会を考えて進めます。

### サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

## 東洋製罐様との環境配慮型のアルミ缶開発 進捗

「環境負荷を低減した次世代の飲料缶蓋「EcoEnd™」を東洋製罐と共同開発」(2023年12月4日リリース)



リリース <https://www.uacj.co.jp/release/20231204.htm>

\*1 東洋製罐調べ

\*2 「EcoEnd」1個当たりのGHG削減量および東洋製罐における現行仕様のSOT（ステイオンタブ）缶向け蓋の2019年度製造実績を基に算定

(リリース内容抜粋)

東洋製罐株式会社様と共同で、製造工程で発生する温室効果ガス（以下「GHG」）を約4割削減した飲料缶用の蓋「EcoEnd」を開発

現行の飲料缶蓋と比較し、10億枚当たりのGHG排出量が約1.3万t<sup>\*1</sup>削減されます。

また、東洋製罐が国内で販売する現行の飲料缶蓋がすべて「EcoEnd」に置き換わった場合、GHG排出量が年間約14万t<sup>\*2</sup>削減される見込みです。

飲料缶用の蓋には材料の加工性や強度など一定の品質を確保するために多くの新地金を使用することが通例となっていました。このたび、UACJによる材料製造技術と東洋製罐による蓋成形技術を新たに組み合わせることで、新地金の使用量を減らした場合においても現行蓋と同等の品質性能をもたせることが可能となる次世代蓋の開発を実現しました。

8

次に、その代表例であるアルミニウム飲料缶の最近の情報をお話します。

今年はじめに、UACJは東洋製罐様と業務提携しました。最近の活動の例として、環境負荷を低減した飲料缶蓋、EcoEndを共同開発しました。12月4日に情報をリリースしております。

材料のコンセプトとしては、現在の缶の蓋材と同じ板厚の材料で、かつ蓋の形状を変えることなく、既存の量産設備をベースに蓋をつくることのできる材料です。

従来、缶の胴と缶の蓋は異なる合金を使用していました。使用済み飲料缶（Used Beverage Can、UBC）はこのうち主に缶胴に使われていましたが、今回の材料開発で、蓋のほうにも利用可能にしました。先ほどお話しした材料の循環を、一層スムーズに進めることができます。

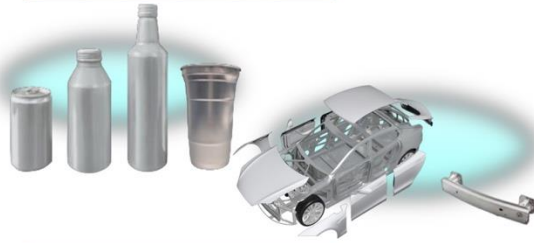
### サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com



## 研究開発テーマと開発事例

### 素材+αへの貢献



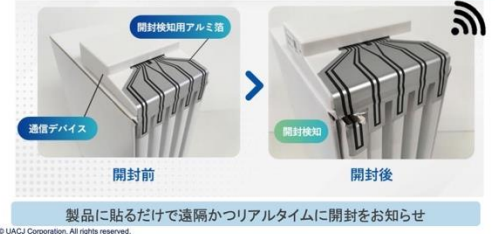
100%リサイクル缶  
自動車材における低CO<sub>2</sub>リサイクルアルミニウム材の開発  
環境配慮型のアルミ缶の共同開発  
UACJ SMARTの展開

アップグレードリサイクル技術の開発  
新燃料の運用によるCO<sub>2</sub>排出量削減

東京大学「先端的LCA社会連携講座」参画

### 新規事業への貢献

ex) 希少試薬説明書のお知らせ箔



### デジタルとの融合

- 止水板「水用心」
- 開封検知箔、お知らせ箔
- 水の架け橋

次世代ロケット燃料タンク向け3Dプリンタ用アルミニウム新合金開発

愛知県のスタートアップエコシステム連携事業に参画

9

ここでは、最近の研究開発テーマと開発事例をお示しします。

2段に分けており、上段の素材+αへの貢献としては、100%リサイクル缶、あるいは自動車関係の材料対応、それから少し先の話になりますが、アップグレードリサイクル技術の開発、新燃料運用によるCO<sub>2</sub>排出量削減にも関わっております。

それから、新領域、新事業への貢献としては、デジタルとの融合を考えており、商品としては止水板「水用心」や開封検知箔、お知らせ箔、水の架け橋、これらは実際に販売を開始しているものです。それから、3Dプリンタ向けアルミニウム新合金の開発、これはかなり先の話にはなりますが、こういったことも進めております。

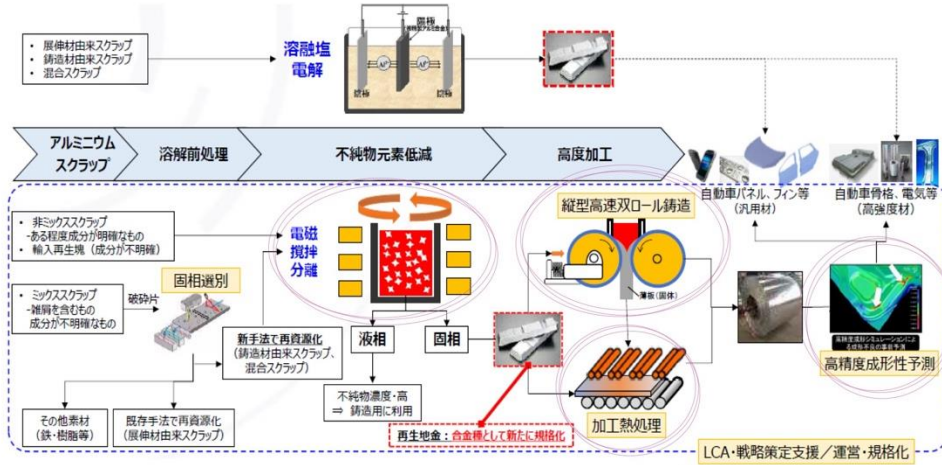
## サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

## 国家プロジェクトへの参画と当社の技術開発

### 循環型社会における環境負荷の低減を目指す

#### 「アルミニウム素材高度資源循環システム構築事業」への参画



© UACJ Corporation. All rights reserved. 出典 国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構(「アルミニウム素材高度資源循環システム構築事業」(中間評価)(2023年6月22日)より引用)

10

次に、産官学連携した国家プロジェクトのお話をします。循環型社会における環境負荷低減を目指した技術開発を進めております。

国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構とは、不純物元素低減技術の開発、また再生地金を多く利用可能な高度加工技術などの開発といった、よりリサイクルしやすい合金利用の開発を進めてまいります。

これらの技術は確立までのハードルがありますが、実用化して製品に取り入れられたあかつきには、当社の大きな武器になります。

#### サポート

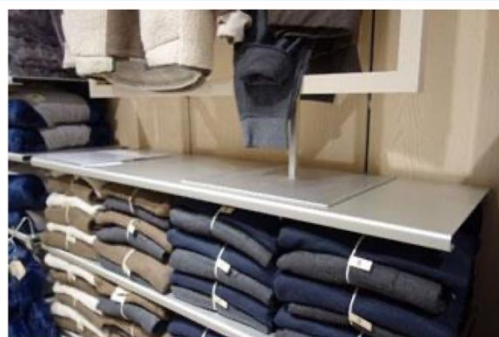
日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375  
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com



## アルミニウムのさらなる普及のために



「すみだ北斎美術館」外装



「無印良品 新宿靖国通り」100%リサイクル材のアルミ棚天板



納骨壇

© UACJ Corporation. All rights reserved.



ナンバープレート材



「UACJ R&Dセンター」外装・庇

11

ここでは、アルミニウムが使われている製品の例を紹介します。例えば、すみだ北斎美術館の外壁には、淡い鏡面のアルミパネルを使用しており、建物外壁に柔らかく下町の風景が映り込み、周辺地域の風景に溶け込むと紹介されています。

無印良品様の新宿靖国通り店では、最近、リサイクル材 100%使用の棚天板をご採用いただきました。納骨壇では、表面処理を活用しております。ナンバープレートは、当社グループで塗装した板をお使いいただいています。

一番下の図の、名古屋の R&D センターや製造所の外壁に開発したアルミニウムハニカムパネルを用い、軽量で剛性のあるパネルとなっており、外装材としての美しさを長期間保っております。

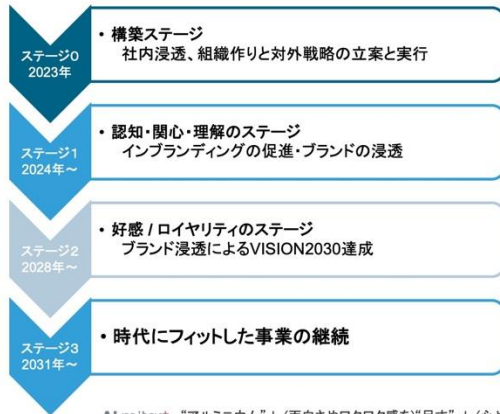
### サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

## アルミニウムのさらなる普及のために - インブランディング活動の開始

アルミニウムの活躍の場の認知、  
これからの可能性の訴求のためインブランディング  
活動を開始

ブランドに対する消費者の意識を段階的に進化させ、  
「なくてはならないもの」になる道筋を描く



© UACJ Corporation. All rights reserved. WEBサイト <https://almitas.uacj-group.com/>

新ブランド **ALmitas+** (アルミタス)を展開

インブランディングによって  
「素材+α」でアルミニウムの価値を付加すべく  
2023年9月から運用スタート

ALmitas+ の浸透で目指すもの

素材間競争における  
アルミニウムの認知度向上

+

最終製品とともにアルミニウムをPRし、  
新分野 / 新領域へのビジネス拡大の可能性を拡げる

事業領域の拡大、  
UACJ VISION 2030 の達成 へ

12

さらなるアルミニウムの普及のために、インブランディング活動を開始しました。アルミニウムが消費者に浸透する活動を、ステージを上げながら長期にわたって進めてまいります。

インブランディングによって素材+αでアルミニウムの価値を生かすべく、新ブランド ALmitas+ を今年9月から運用開始しました。

アルミニウムの認知度を向上させ、最終製品とともにアルミニウムをPRし、新分野、新領域のビジネス拡大の可能性を広げてまいります。その結果として、事業領域の拡大、VISION 2030 の達成につなげてまいります。

### サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

# ALmitas+

“アルミ +  $\alpha$  の付加価値”を体現するUACJの製品ブランド

アルミニウムが持つ機能性や価値を最終消費者を含めた多数に認知してもらい、  
アルミニウム製品が選択される機会を増やして需要を拡大していく



アウトドアブランドArkitent<sup>®</sup>のワンポールテントのアルミポールに採用



カート部品Triple K<sup>®</sup>(加藤製作所<sup>®</sup>)のスプロケット材に採用

© UACJ Corporation. All rights reserved.

- \*1 Arkitent カフェ運営やキャンピングの企画・販売を手掛ける「TARPltoTARP」と、United Arrows社のアウトドアレーベル(koki BEAUTY&YOUTH)のコラボブランド
- \*2 Triple K <http://triple-k.info/>
- \*3 株式会社加藤製作所様 <https://katoss.co.jp/>

13

新ブランド ALmitas+ では、最終消費者を含めた多くの方に認知していただき、アルミニウム製品が選択される機会を増やして、需要拡大していきたいと考えております。

最近の具体的な例としては、アウトドアブランド「Arkitent」ワンポールテントのアルミポールへの採用、カート部品「Triple K」、加藤製作所様製造のスプロケット材への採用などがあります。さらに、製品を増やす施策を積極的に展開中です。

## サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com



## アルミニウムのさらなる普及のために - 人的資本の強化

### 次世代を担う金属素材人材を育成し、“軽やかな世界”の実現に貢献する

**目標** 次世代を担うプロフェッショナルな研究開発者を育成し、企業理念を実現する

- 課題**
- アルミニウムの研究開発に対する若年世代の興味関心の掘り起こし
  - 先端技術の開発に携わる人員の育成

#### 大学との連携

- 東京大学 社会連携講座  
「次世代軽量合金の創生」  
～次世代軽量アルミ合金の創製とプロフェッショナル  
人材育成を目指す～
- 北海道大学 産業創出講座  
「次世代アルミニウムイノベーション推進部門講座」

#### 研究結果の 積極的な公表

- UACJ Technical Reportsの発刊

#### 産官連携

- 国家プロジェクトへの参画
- 産業総合研究所との連携

#### グループ間での 研究者交流

- タイ人研究者の採用
- R&Dセンター北米拠点への駐在

#### 知名度向上

- スタートアップ企業との交流の場等、イベントへの出展
- 日経エデュケーションチャレンジ、地球教室 かんきょう1日学校への出展

© UACJ Corporation. All rights reserved.

14

研究開発によって得られたものは、循環型社会の構築に大きく貢献すると考えており、当社の企業理念の実現に近づくものです。

消費者にアルミニウムの持つ魅力を知っていただき、同時にそれを叶える研究開発メンバーの育成、強化が重要と考えております。大学との連携、産官の連携、それから最近では小中学生の教育活動など、次世代の研究者の育成を進めてまいります。

以上、技術に関してご紹介させていただきました。ご清聴ありがとうございました。

**上田**：平野さん、ありがとうございました。最後に、誰もが幸せを感じられる 健やかで調和の取れた社会について、専務執行役員、ビジネスサポート本部長の山口明則よりご説明申し上げます。

#### サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com





**UACJ**  
Aluminum lightens the world  
アルミでかなえる、軽やかな世界

## 誰もが幸せを感じられる 健やかで調和の取れた社会へ

専務執行役員 ビジネスサポート本部長  
山口 明則

2023年12月7日  
株式会社UACJ

© UACJ Corporation. All rights reserved.



山口：あらためまして、おはようございます。ビジネスサポート本部の山口でございます。

### サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com



## UACJが目指す“軽やかな世界”へ導く羅針盤



### 100年後の軽やかな世界のために

私たちの毎日の暮らしを支える素材、アルミニウム。自由にカタチを変え、無限の可能性を持つ素材。同じものとして、何度でも生まれ変わることができる。この特徴は、アルミニウムならではの。言わば「サステナブル(持続可能)な素材」です。

そんなアルミニウムの持つ力を、技と術で引き出してきたUACJだからできること。

それは、美しく豊かな地球がずっと続く未来が実現できるよう、これまで受け継いできた叡智と情熱を胸に、地球環境が抱えるさまざまな課題と向き合い、環境に配慮した事業を営んでいくこと。

さらに、誰もが幸せを感じられる健やかで調和のとれた社会が実現するよう、あらゆる人々の多様性を尊重し地域社会との共生・共創を通して、ステークホルダーの皆さまとともに社員一人ひとりが、考え、行動すること。

アルミとあしたへ。

未来の子もたちに、美しい地球を。サステナブルな社会を。それがUACJの考える「軽やかな世界」です。

私のパートでは、羅針盤の下の部分、サステナビリティが目指す方向性の一つであるウェルビーイングを当社がどう捉え、施策を立てていくかについて説明します。

### サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

## 誰もが幸せを感じられる 健やかで調和の取れた社会へ

あなたをWellに。みんなをWellに。

# UACJ Well WAVE



© UACJ Corporation. All rights reserved.

あなたをWellに。みんなをWellに。

## UACJ Well WAVE

UACJが考える Well-being。

それは、一人ひとりが健康で心が充実し  
幸せを感じられるような良い状態“Well”が、  
家族や周りの人々、地域や社会の Well につながり、  
その Well がまた一人ひとりに返ってくる「WellのWAVE(波)」だと考えます。

あなたの Wellは何ですか。

生きがいや働きがいを感じるのはどんな時でしょう。  
家族や友人、同僚の Wellを知ってますか。  
会社や地域、社会にとっての Wellって何でしょう。

一人ひとりが自分らしく輝くことができるように  
UACJはみんなの未来を Well にしていきたいと考えます。

まずはあなたが Well であるように。  
そして、いろいろな Well が波のように広がり、重なりあっていけるように。

あなたを Well に。みんなを Well に。

2

UACJ が考えるウェルビーイングは、「誰もが幸せを感じられる 健やかで調和の取れた社会」を目指すもの、このように定義しております。

一人ひとりの Well、これが家族、地域、さらにはもっと広げて、それが一人ひとりにまた返ってくる、WellのWAVEであると考えています。まず、UACJの社員一人ひとりが Well であるべく、施策に取り組んでまいります。

### サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

「誰もが幸せで幸せを感じられる 健やかで調和のとれた社会」のために取り組んでいく重要課題



### 人権の尊重

人権に関する施策の推進は、UACJグループの内外を問わず社会全体の“Well”を向上し、未来の“Well”につながるものである



### 多様性と機会均等の浸透(DE&I)

さまざまなバックグラウンドを持つお互いを尊重し合うことが当社グループのみならず社会全体の“Well”であり、“良い状態”を目指してより一層取り組みを強化していくものである

© UACJ Corporation. All rights reserved.

3

石原からマテリアリティを見直しているとお話がありましたように、新しく見直したマテリアリティで、このウェルビーイングの分野で掲げるのは、人権の尊重と、多様性と機会均等の浸透です。

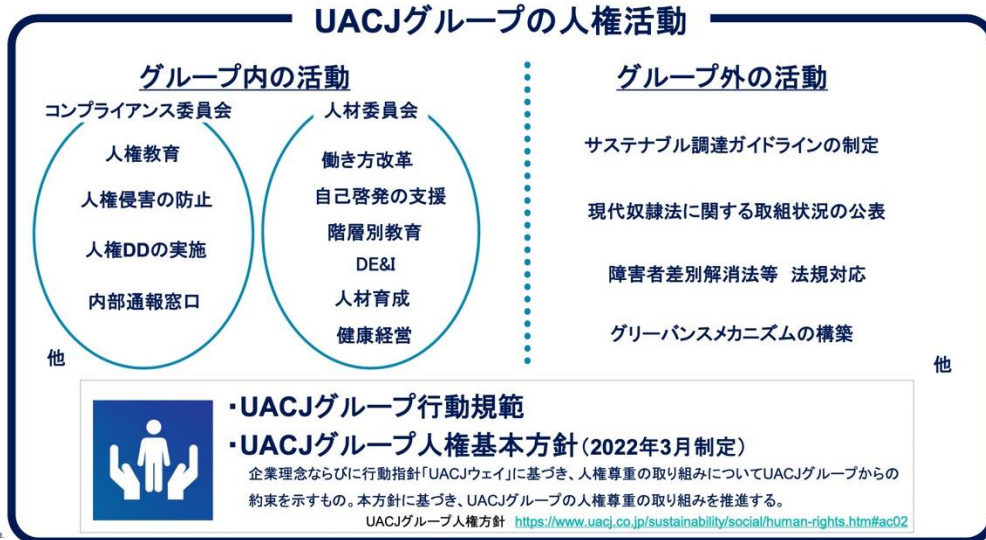
サプライチェーン、社会全体で取り組むべき課題であり、当然当社も活動を強化し、展開していかなければならないものと認識しております。

#### サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

## UACJグループの行う人権活動イメージ

UACJグループの人権活動は、従業員一人ひとりが健やかでいられる環境を守ることを含む



5

まず、人権の尊重からお話したいと思います。ここでは、当社が企業理念に掲げる、「素材の力を引き出す技術で、持続可能で豊かな社会の実現に貢献する。」ことを目指して、人権の尊重に取り組んでおります。

一人ひとりが健康で心が充実し、幸せを感じられるようないい状態、Well を実現するにあたっては、まず人権教育や人権デューディリジェンス、こういったものの実施などを、UACJグループの内側の活動として行ってまいります。

また、サステナブル調達ガイドラインの策定や、グリーンバンスメカニズムの構築など、グループの外への活動も行ってまいります。

グループ内においては、当社グループ全体のコンプライアンス、および人権に関する事項を所管するコンプライアンス委員会と、当社グループの人材領域に関する事項のうち、定期的かつ継続的に取り組むべき事項を所管する人材委員会が、それぞれ、人権教育、人権デューディリジェンス、働き方改革、あるいは自己啓発の支援に取り組んでおります。

### サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375  
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

## 人権に関する取り組み



© UACJ Corporation. All rights reserved.

6

次にグループにおける人権に関する取り組みについて、説明します。まず左側に、企業が求められる人権対応の全体像を示しております。右側は、UACJグループにおける取り組み状況を呼応するかたちで示しております。

まずは、方針によるコミットメントについてです。2022年の3月にグループ人権基本方針を策定して、Webサイトで公開しております。

それから、人権デューディリジェンスの実施につきましては、当社グループの事業を通じて発生する可能性のある人権への負の影響、リスクを評価した上で、負の影響に対する予防是正措置として、当社グループ内での教育活動、人事制度の改革、サステナブル調達ガイドラインの策定を行っております。

また、負の影響があった場合の救済措置として、内部通報窓口の運営や、グリーバンスメカニズムの整備を行っております。

今後も、グループ理念に掲げる、「素材の力を引き出す技術で、持続可能で豊かな社会の実現に貢献する。」を目指し、社会のサステナビリティ向上に貢献することができるように、人権に関する国際的な潮流も注視しつつ、時代に合った適宜適切な対応をグループ挙げて行ってまいります。

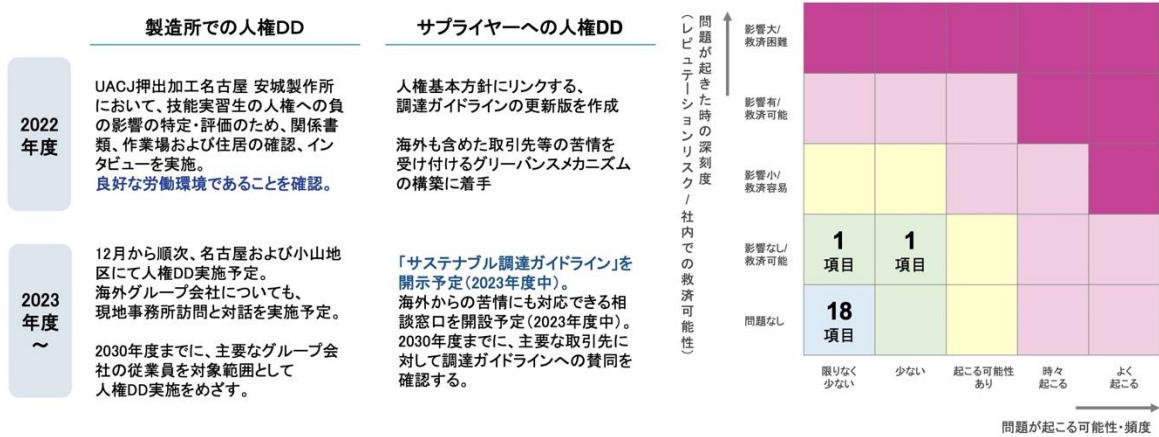
### サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

## 人権への取り組み - 人権デューディリジェンス(DD)の計画と実施

### UACJ押出加工名古屋 安城製作所で人権DDを実施、負の影響とリスクなし

#### ◆ 2022年度実施 人権DD結果とリスク評価マップ



© UACJ Corporation. All rights reserved.

7

2022年度の人権デューディリジェンスの結果を総括して示しております。

2022年度はUACJ押出加工の安城製作所でデューディリジェンスを実施しております。右に、マトリックスで評価結果を記載しておりますように、負の影響とリスクはないと判断しております。安城製作所では技能実習生を受け入れており、今回はこの受入れの状況や実態の確認と、インタビューを実施して、良好な労働環境であることを確認しました。

また、左下には今年度の計画を示しております。名古屋小山地区で人権デューディリジェンスを実施する予定です。さらに、オーストラリアのグループ会社UACJ Australia Pty. Ltd. (UAAU)においても対話を実施する予定です。

サプライヤーに対しては従来、調達ガイドラインを持っておりましたが、これを改善するかたちで、新しくサステナブル調達ガイドラインを今年度中に主要な取引先様に対して示し、われわれへご賛同いただきたいという計画です。

#### サポート

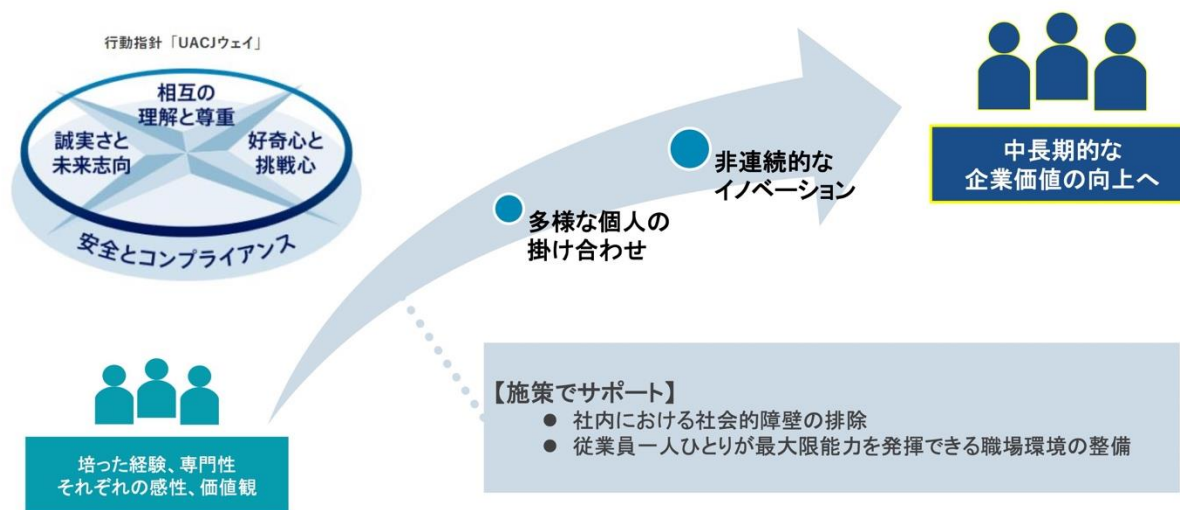
日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375  
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com





## ダイバーシティ(DE&I)の浸透で目指す企業価値の向上

UACJ ウェイ「相互の理解と尊重」を実行し、新たな価値創出に挑戦する従業員を支援する



© UACJ Corporation. All rights reserved.

9

次に、マテリアリティの一つである DE&I について、内容を整理して、より積極的な施策に取り組んでいきたいということをご紹介します。

2021年2月に再定義した UACJ ウェイのうち、相互の理解と尊重が DE&I に直結すると認識しております。そういった意味では、従業員それぞれの中に既に根づいてきているであろうとは捉えておりますが、あらためてマテリアリティとして明文化し、より有効な施策を適宜とっていく計画です。

### サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

## ダイバーシティ(DE&I)推進宣言

UACJグループは、ダイバーシティ(DE&I)の推進により、UACJグループで働く一人ひとりが誇りと安心を感じ、自分らしく豊かに生きることで、企業理念の実現を目指します。

UACJグループは  
**「DE&I」(デ・ア・イ)**  
を大切にします。



私たちUACJグループは、長い歴史の中で、さまざまな人や地域との「出会い」を通じてグローバル アルミニウム メジャーグループとして成長し続けています。UACJウェイの「相互の理解と尊重」に基づき、今後も「DE&I(デ・ア・イ)」を大切に育んでいきます。

「DE&I(デ・ア・イ)」とは

**Diversity** (ダイバーシティ=多様性)：お互いの個性を受け入れ、歓迎すること

**Equity** (エクイティ=公正性)：一人ひとりがその能力を最大限発揮できるよう、機会を与えること

**Inclusion** (インクルージョン=包摂性)：帰属意識を持ち、個人の成長と組織への貢献のために自由闊達に意見が言えること

© UACJ Corporation. All rights reserved.

10

UACJグループは多様性を尊重し、一人ひとりが憂うことなく過ごせる環境整備に努めてまいり所存です。グループのDE&Iに対する考えを明文化し、このたびダイバーシティ推進宣言として、社内外に示すこととしております。

DE&Iのあり方については、グループとしてどうしていかなければならないかを、国内だけではなく、国外のグループ社員とも意見交換等を実施しており、ここに紹介しております宣言をつくり上げてきました。

UACJらしきのある内容にしたい、既に浸透しているDE&Iの認識を反映させたいという、社員それぞれの思いを組み入れたものになっていると自負しております。

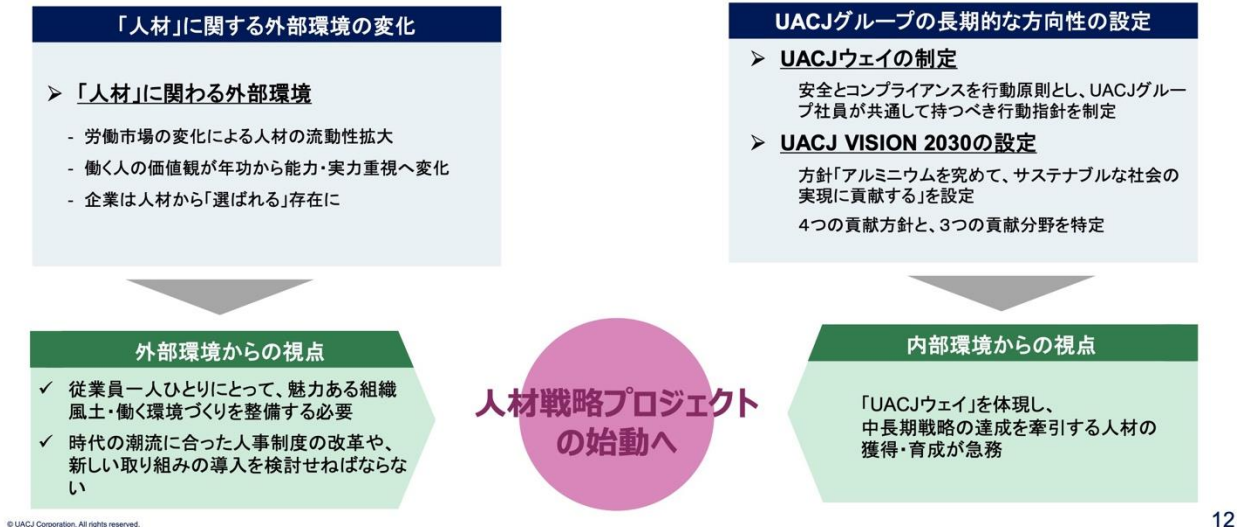
デ・ア・イ、これを大切に育み、これからの活動に取り組んでまいります。

### サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

## 人材戦略プロジェクトの本格始動

### 外部環境の変化、経営目標の設定に応じた人材戦略を検討



12

ここからは、人に関する重要な施策である人材戦略プロジェクトの進捗を報告します。

VISION 2030の実現、UACJウェイの体現、こういったUACJの持続的な成長と、労働市場環境の変化に対応する人材戦略が必要になってきたということで、2023年4月から人材戦略プロジェクトを本格始動させております。

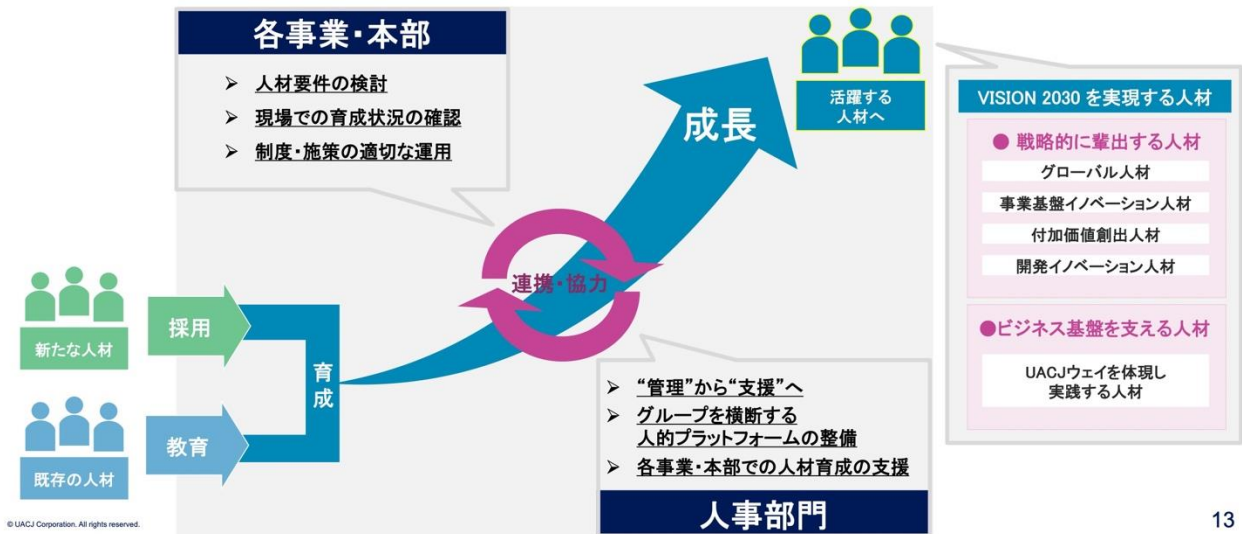
UACJウェイを体現し、実現する人材が、VISION 2030を実現する人材へと成長することができるように進めてまいります。

#### サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

## 人材戦略がめざすもの

各事業・本部と人事部門との密な連携・協力により、求める人材の育成を実現



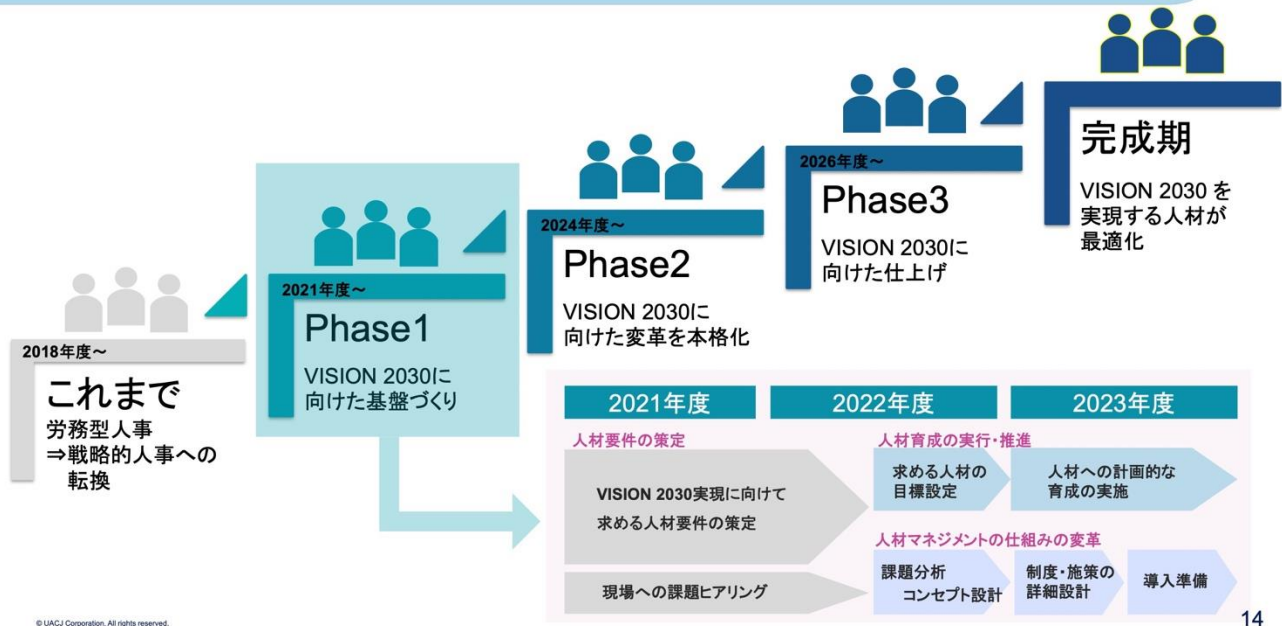
13

このページにありますように、各事業本部が中心となって人の成長にかかわるわけですが、この部門と人事部門が連携、協力を深めていくことを引き続きやっていきたいと考えております。

### サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

## 人材戦略プロジェクト 実施ステップ



人材戦略プロジェクトはいくつかの、年ごとにここに示したフェーズで施策を実行しております。

2023年度はフェーズ1の最終段階に入っており、従業員の計画的な育成の実施に取り組み、2024年度からはフェーズ2の段階に入るので、VISION 2030の実現に向けた取り組みを加速させていきたいと考えております。VISION 2030の実現に向けて、人材の最適化を目指して活動を推進したいと思っております。

### サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375  
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

## 人的資本に関するKPIの設定

これまで培ってきた、多岐にわたる人的な指標を活用し、UACJ VISION 2030 を実現しうる人材を育成すべく取り組みを進める

		2021年度 実績	2022年度 実績
ものづくり人材の育成	… 技能開発セミナー受講者数	196人	229人
人材育成の推進	… 階層別研修参加者数	476人	646人
エンゲージメントの向上	… エンゲージメント調査実施率	80.0%	80.0%
魅力ある処遇の実現	… 男女間の賃金水準格差	-	78.4%*
ダイバーシティの推進	… 女性管理職比率	2.2%	3.4%
ワークライフバランス	… 有給休暇取得率	62.0%	69.0%
健康経営の推進	… 健康診断受診率	100%	100%

成長やりがいを  
感じられる  
職場環境を提供

個々が尊重される  
職場環境の提供

働きやすい  
職場環境の  
提供

\*男女間の賃金水準格差については、同一労働の賃金に差はなく、等級別人数構成の差によるもの  
その他の人的資本にかかるKPIの推移は、UACJ Report 2023「サステナビリティの進化 人材マネジメント」(p65-66)をご覧ください  
[https://www.uacj.co.jp/ir/library/pdf/2023/03\\_2023uacjr.pdf](https://www.uacj.co.jp/ir/library/pdf/2023/03_2023uacjr.pdf)

© UACJ Corporation. All rights reserved.

15

人的資本に関する KPI の一例を示しています。この中にもあります、エンゲージメント調査を2019年から導入しており、あるいはその他のこの人的な指標も活用して、有効なアウトプット、アウトカムが得られるように取り組んでいるのが現状です。

詳細な施策と KPI につきましては、弊社のホームページあるいは統合レポートでご報告しておりますので、またご参照いただけるとありがたいです。

こういったデータの蓄積を進めていき、さらに分析を深めて、各指標と業績の連動性があるか、そういったものを探ろうとしております。この後、少し紹介します。

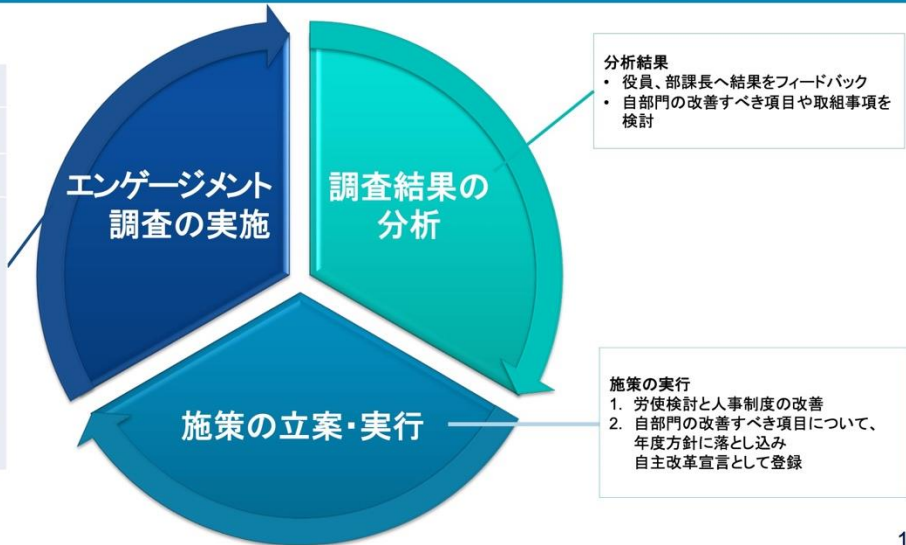
### サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

## エンゲージメント調査の施策への反映

### エンゲージメント調査の結果分析に基づいた、効果的な人的資本施策を展開する

調査機関	2022/12/1～2022/12/16
調査範囲	UACJおよび日本国内関連会社 UATH(トライアル実施)
回答率	80%
調査項目	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 総合・自社での働き甲斐、他者に自 社を勧めたいか?</li> <li>2. モチベーション</li> <li>3. 仕事のスタイル(働き方)</li> <li>4. 職場の活気(活力)</li> <li>5. 職場コミュニケーション</li> <li>6. 職場マネジメント</li> <li>7. 制度・評価・処遇</li> <li>8. コンプライアンス経営</li> <li>9. 経営トップマネジメント</li> <li>10. 顧客志向</li> <li>11. UACJ独自項目 ・自社の理念、ウェイ、行動規範実践度 ・健康経営についての理解度 ・ハラスメント関連</li> </ol>



© UACJ Corporation. All rights reserved.

16

まず、エンゲージメントです。エンゲージメント調査は、先ほど2019年からやっておりましたが、ここにありますが、得られた結果を分析して、次の人事施策に反映させる取り組みを各拠点、さらには拠点の職場単位ごとに実際にやっています、その活動そのものは定着している状態にあります。

今年度の調査が先月締切りで、これから結果をまとめてまた出てくることになります。こういったものに一喜一憂してはいけないと言われておりますし、長期的なビジョンでフィードバックしながら進めていきたいと考えております。

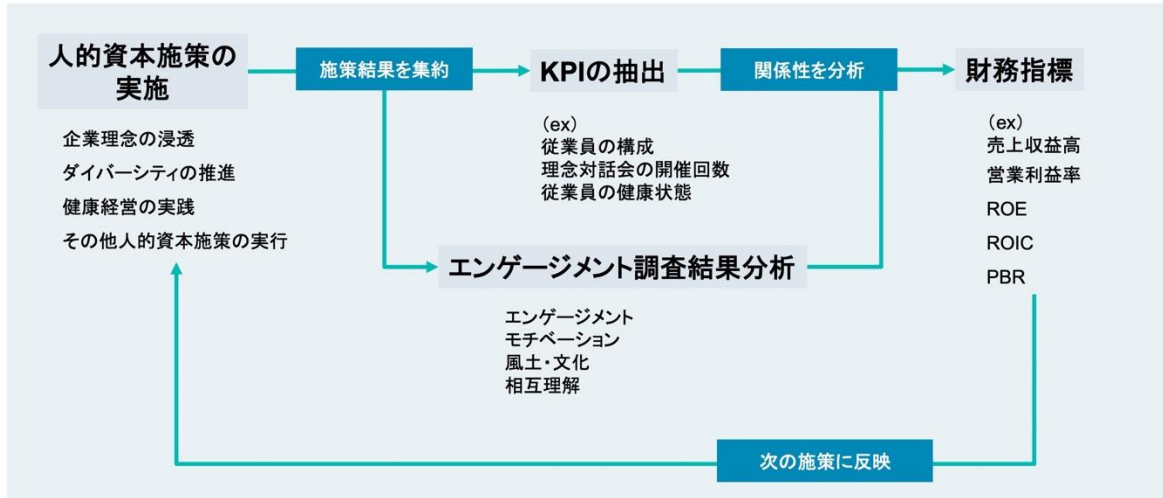
## サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

## 人的資本の財務インパクトへの連動

2023年度より、ESGデータ分析プロジェクトをスタート。京都大学 砂川研究室との連携

まずは人事施策、エンゲージメント調査結果と財務指標の関連性を探り、人的資本による財務インパクトの可視化を図る



17

さらに、われわれだけでは限界がありますので、こういったエンゲージメント調査などの、これまでに蓄積してきた人的資本に関するデータの最大活用を通じて、強化すべき人的資本政策を特定してまいります。

財務インパクトとして可視化できることを目指して、UACJの持続的な成長の一助となるべく、プロジェクトを立ち上げております。

このプロジェクトは、社内だけではなく、京都大学の砂川研究室にもご参画いただいております。有益なアドバイスをいただきながら進めています。当社個別の事情に応じた内容にしていこうと考えておるところです。

### サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com



## 誰もが幸せを感じられる 健やかで調和の取れた社会へ

あなたをWellに。みんなをWellに。  
UACJ Well WAVE



© UACJ Corporation. All rights reserved.

18

最後に、企業として備えるべき人権への尊重を十二分に備え、また単に経営層が望む人材を育てるだけではなくて、働く側の人からも、こういう人材として社会で活躍したいから UACJ を選んだと、そんな誇りを持っていえるような人材、こういう人たちからも選ばれる企業でありたいと考えております。

こういった視点も加味して、このテーマである、「誰もが幸せを感じられる、健やかで調和の取れた社会」、こういったところに貢献できる企業を目指して活動を進めてまいりたいと思います。

私のプレゼンテーションは以上です。ご清聴ありがとうございました。

[了]

### 脚注

1. 音声不明瞭な箇所については[音声不明瞭]と記載

### サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

## 免責事項

本資料で提供されるコンテンツの信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性等について、SCRIPTS Asia 株式会社（以下、「当社」という）は一切の瑕疵担保責任及び保証責任を負いません。

本資料または当社及びデータソース先の商標、商号は、当社との個別の書面契約なしでは、いかなる投資商品（価格、リターン、パフォーマンスが、本サービスに基づいている、または連動している投資商品、例えば金融派生商品、仕組商品、投資信託、投資資産等）の情報配信・取引・販売促進・広告宣伝に関連して使用してはなりません。

本資料を通じて利用者に提供された情報は、投資に関するアドバイスまたは証券売買の勧誘を目的としておりません。本資料を利用した利用者による一切の行為は、すべて利用者の責任で行っていただきます。かかる利用及び行為の結果についても、利用者が責任を負うものとします。

本資料に関連して利用者が被った損害、損失、費用、並びに、本資料の提供の中断、停止、利用不能、変更及び当社による利用者の情報の削除、利用者の登録の取消し等に関連して利用者が被った損害、損失、費用につき、当社及びデータソース先は賠償又は補償する責任を一切負わないものとします。なお、本項における「損害、損失、費用」には、直接的損害及び通常損害のみならず、逸失利益、事業機会の喪失、データの喪失、事業の中断、その他間接的、特別的、派生的若しくは付随的損害の全てを意味します。

本資料に含まれる全ての著作権等の知的財産権は、特に明示された場合を除いて、当社に帰属します。また、本資料において特に明示された場合を除いて、事前の同意なく、これら著作物等の全部又は一部について、複製、送信、表示、実施、配布（有料・無料を問いません）、ライセンスの付与、変更、事後の使用を目的としての保存、その他の使用をすることはできません。

本資料のコンテンツは、当社によって編集されている可能性があります。

---

## サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375  
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

